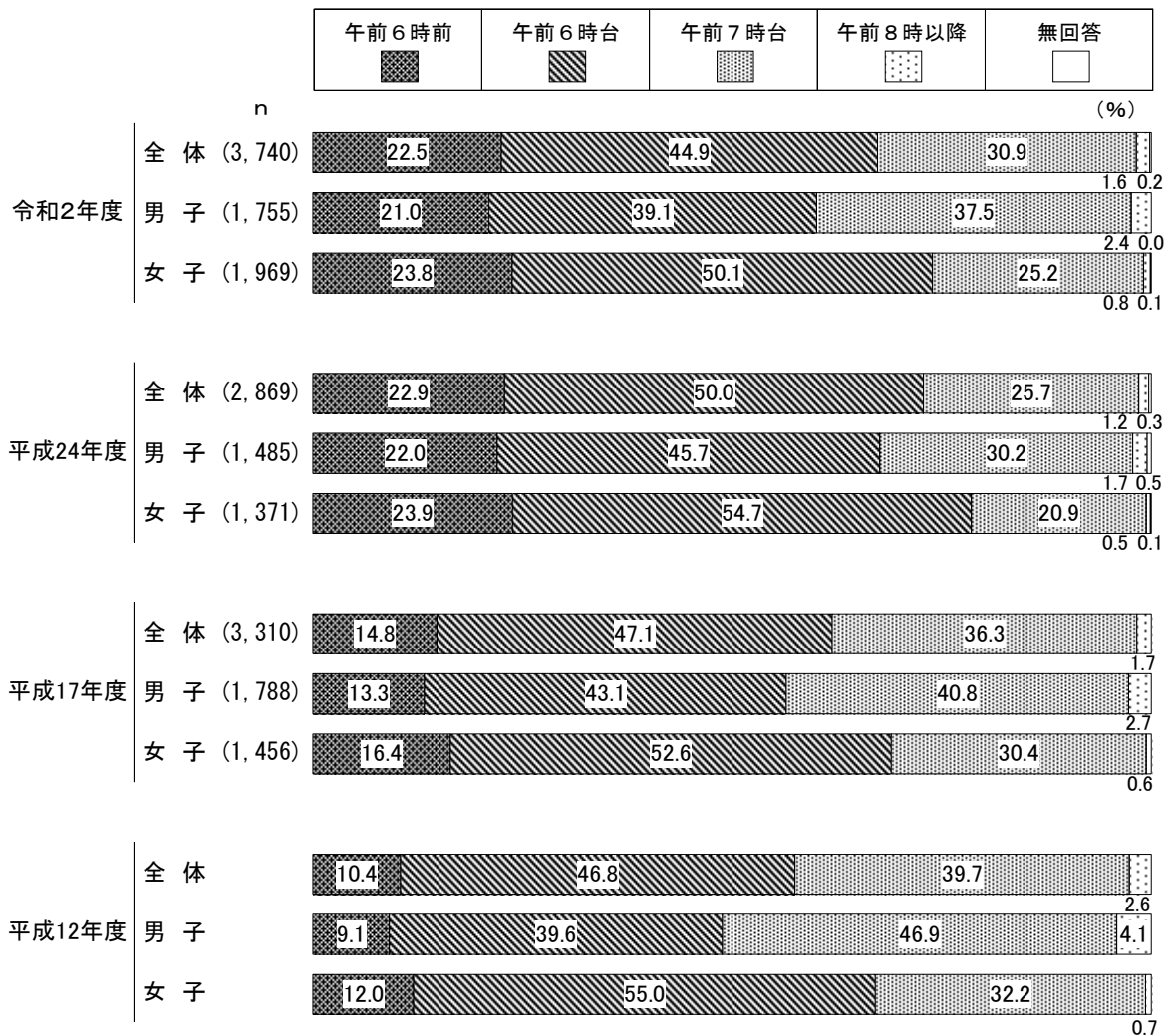


## 2. 日頃の生活

### (1) 起床時間

問1 普段何時に起きていますか（休日を除く）。

図表2-1-1 起床時間（経年比較）



普段何時に起きていますか聞いたところ、「午前6時台」が44.9%で最も高く、次いで「午前7時台」（30.9%）、「午前6時前」（22.5%）、「午前8時以降」（1.6%）となっている。

男女別で見ると、「午前7時台」は男子（37.5%）が女子（25.2%）より12.3ポイント高くなっている。一方、「午前6時台」は女子（50.1%）が男子（39.1%）より11.0ポイント高くなっている。

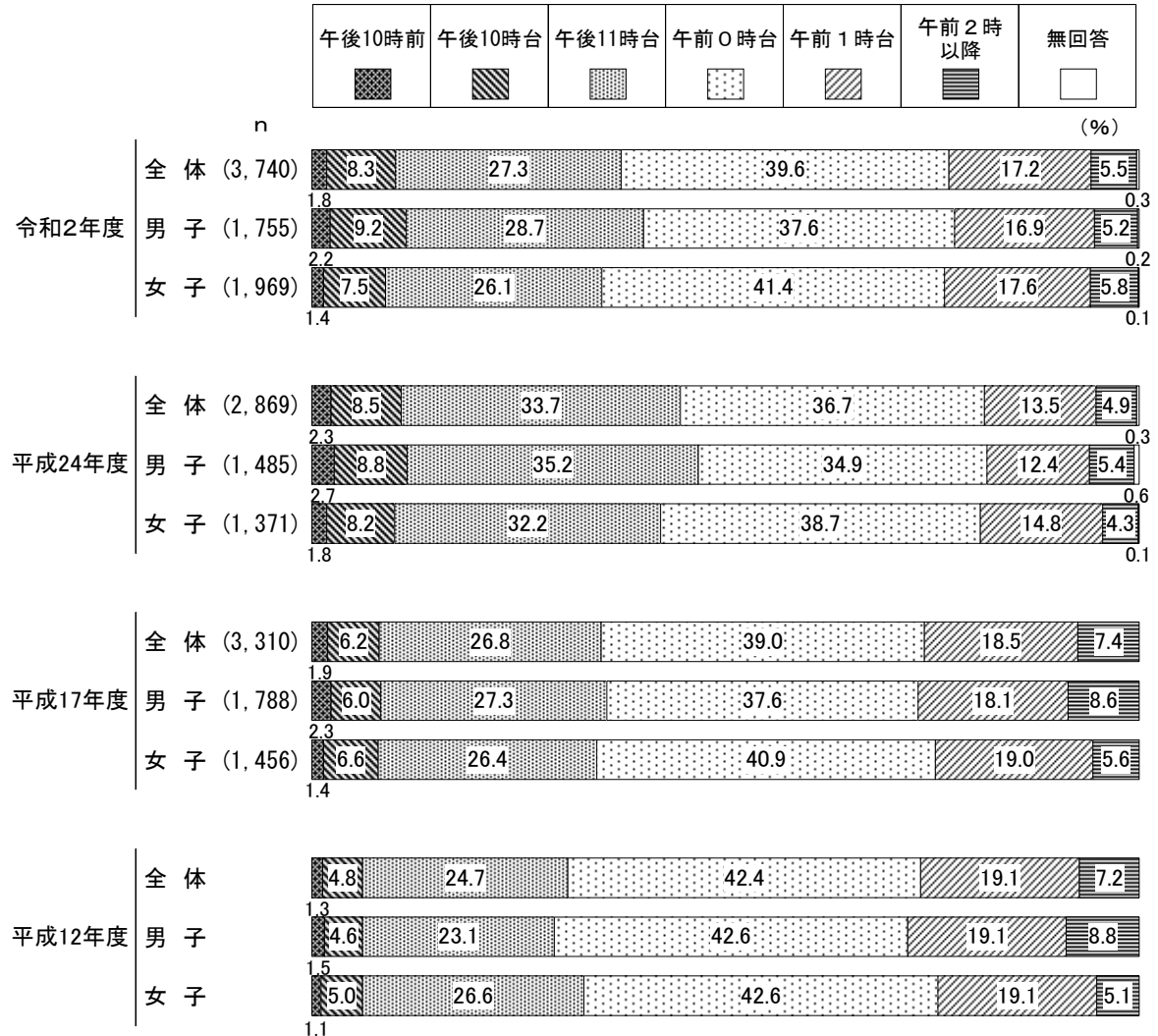
過去の調査と比較すると、全体では「午前7時台」は平成24年度より5.2ポイント増加している。一方、「午前6時台」は平成24年度より5.1ポイント減少している。

男女別では「午前7時台」は平成24年度より男子で7.3ポイント、女子で4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「午前6時台」は平成24年度より男子で6.6ポイント、女子で4.6ポイント、それぞれ減少している。

## (2) 就寝時間

問2 普段何時に寝ていますか（休日を除く）。

図表2-2-1 就寝時間（経年比較）



普段何時に寝ているか聞いたところ、「午前0時台」が39.6%で最も高く、次いで「午後11時台」（27.3%）、「午前1時台」（17.2%）、「午後10時台」（8.3%）となっている。

男女別でみると、「午前0時台」は女子（41.4%）が男子（37.6%）より3.8ポイント高くなっている。

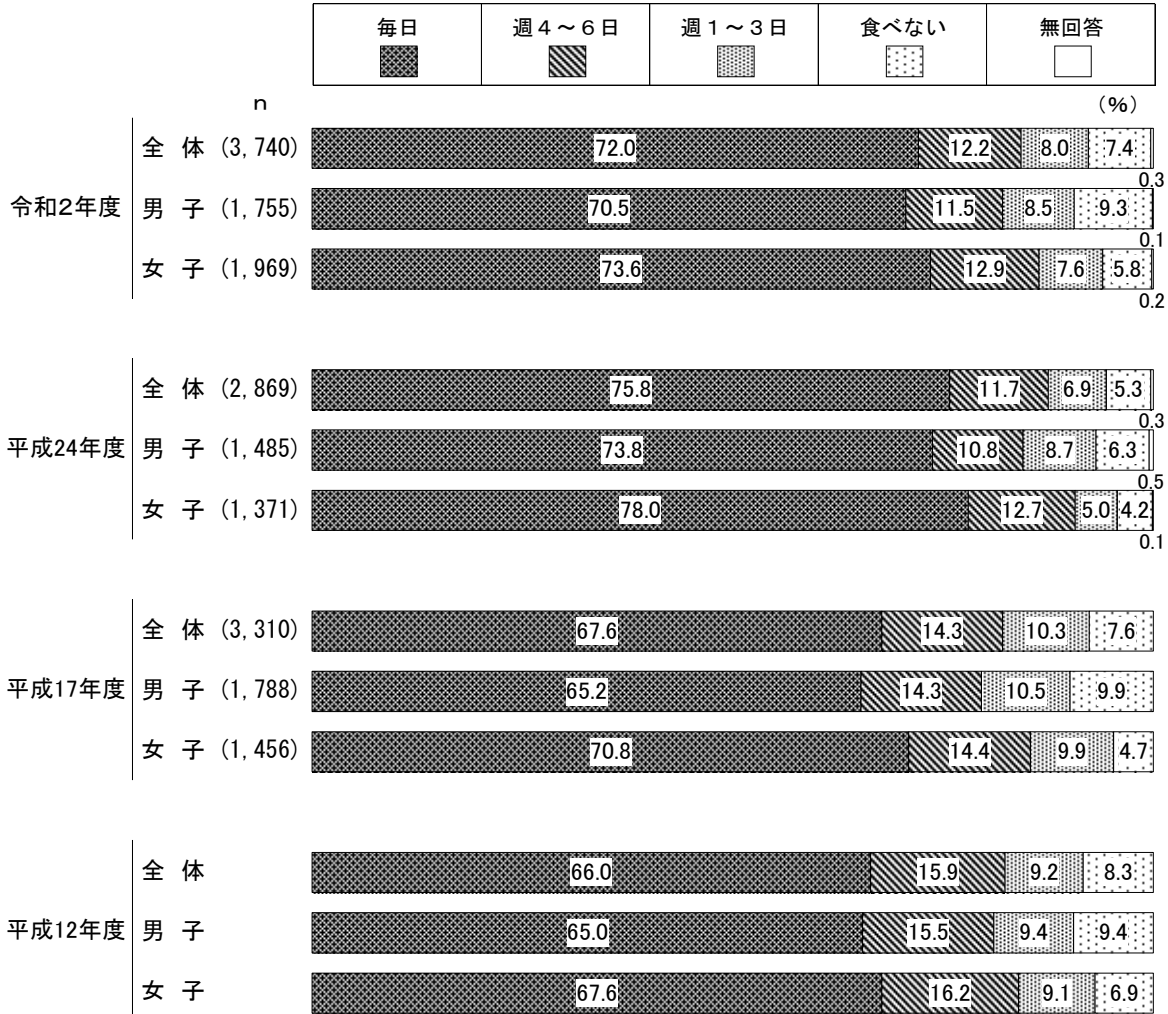
過去の調査と比較すると、全体では「午前1時台」は平成24年度より3.7ポイント増加している。一方、「午後11時台」は平成24年度より6.4ポイント減少している。

男女別では「午前1時台」は平成24年度より男子で4.5ポイント増加している。一方、「午後11時台」は平成24年度より男子で6.5ポイント、女子で6.1ポイント、それぞれ減少している。

### (3) 朝食摂取状況

問3 週にどのくらい朝食を食べていますか。

図表2-3-1 朝食摂取状況（経年比較）



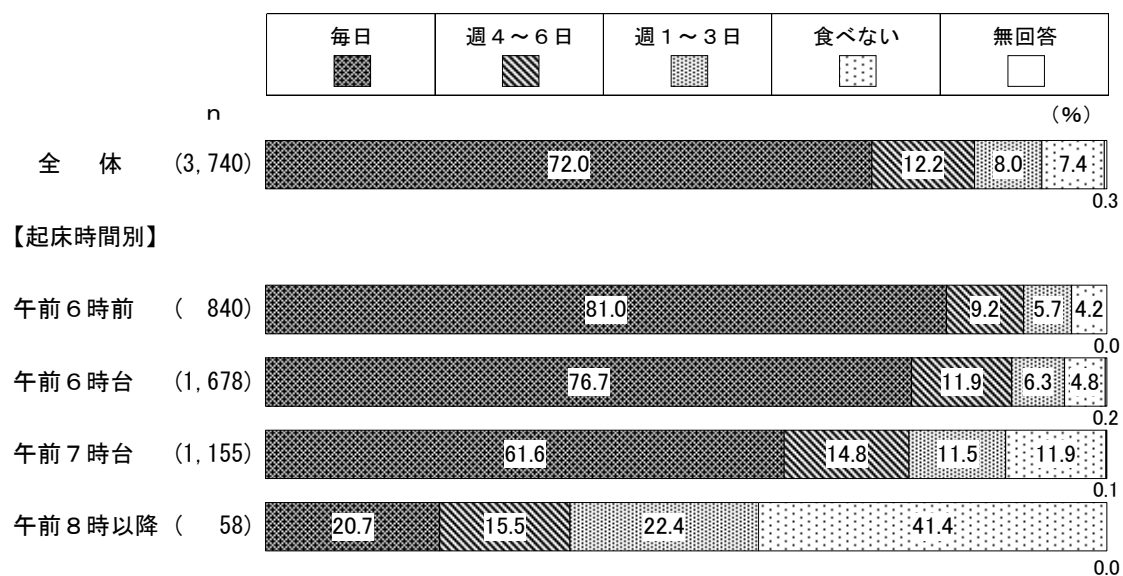
週にどのくらい朝食を食べているか聞いたところ、「毎日」が72.0%で最も高く、次いで「週4~6日」(12.2%)、「週1~3日」(8.0%)、「食べない」(7.4%)となっている。

男女別で見ると、「食べない」は男子(9.3%)が女子(5.8%)より3.5ポイント高くなっている。一方、「毎日」は女子(73.6%)が男子(70.5%)より3.1ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「毎日」は平成24年度より3.8ポイント減少している。

男女別では「食べない」は平成24年度より男子で3.0ポイント増加している。一方、「毎日」は平成24年度より男子で3.3ポイント、女子で4.4ポイント、それぞれ減少している。

図表 2-3-2 朝食摂取状況（起床時間別）

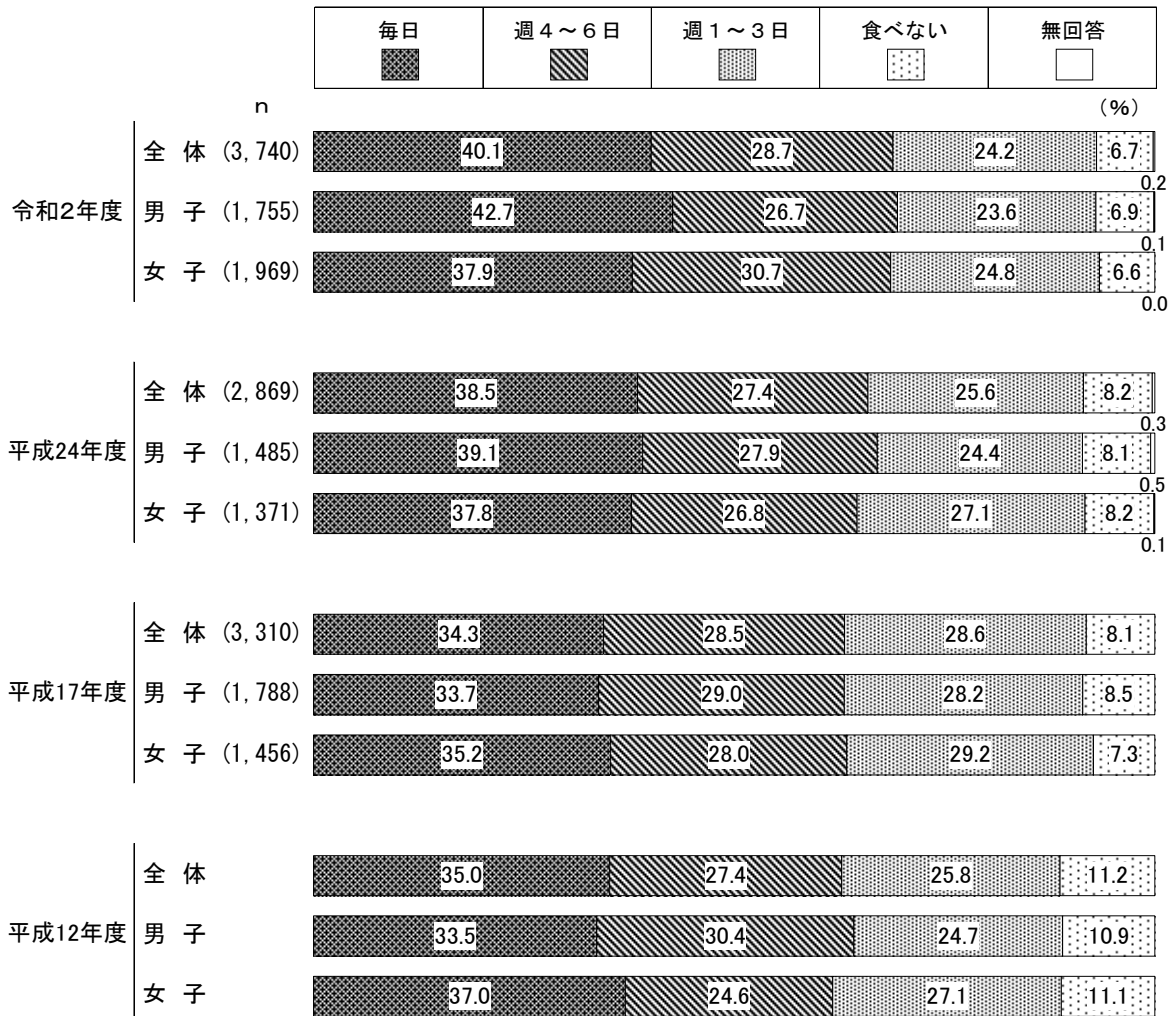


起床時間別でみると、「毎日」は起床時間が早くなるほど割合が高く、“午前6時前”で81.0%と高くなっている。一方、「食べない」は起床時間が遅くなるほど割合が高く、“午前8時以降”で41.4%と高くなっている。

#### (4) 家族との夕食摂取状況

問4 週にどのくらい家族と一緒に夕食を食べますか。

図表2-4-1 家族との夕食摂取状況（経年比較）



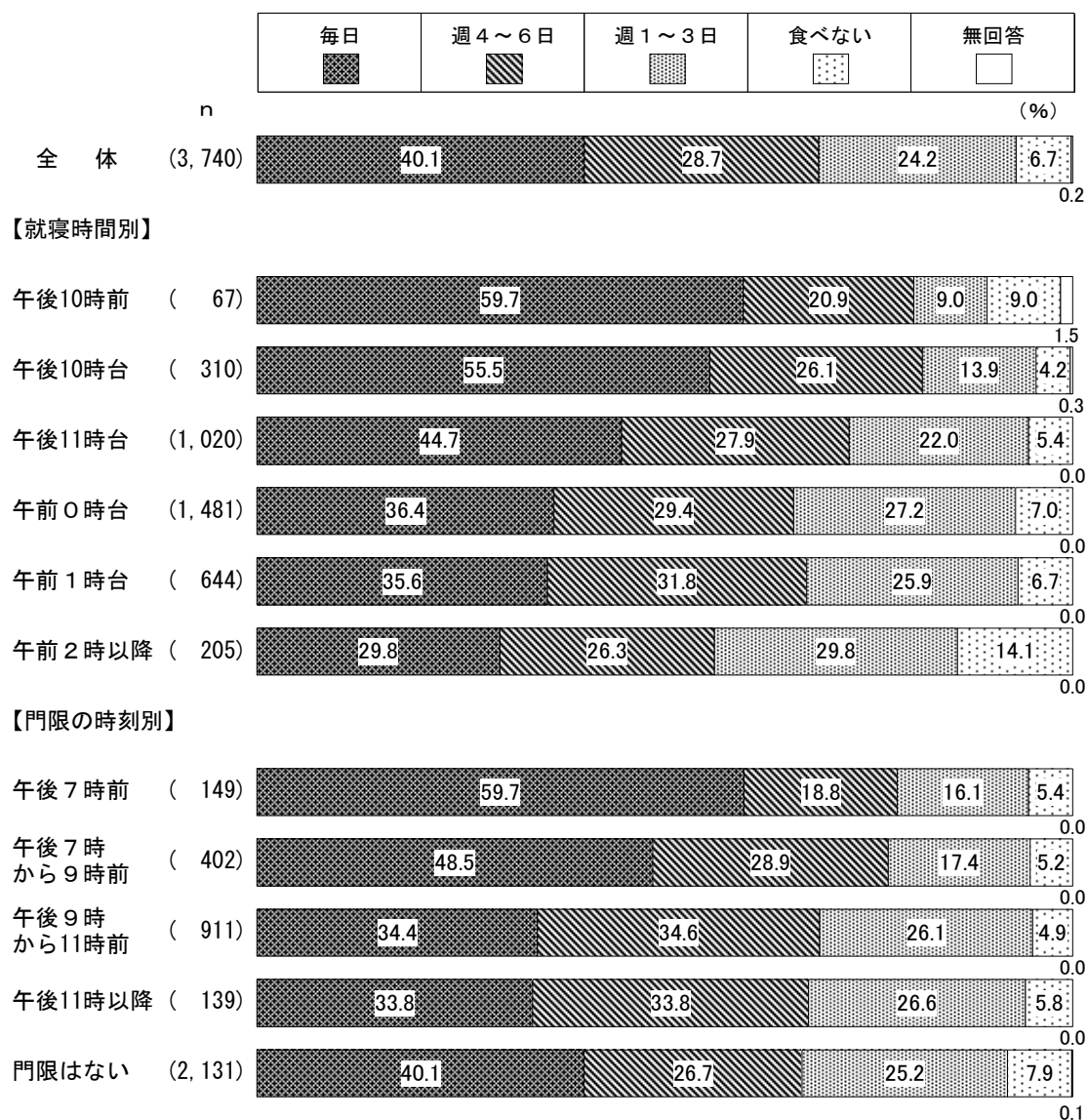
週にどのくらい家族と一緒に夕食を食べているか聞いたところ、「毎日」が40.1%で最も高く、次いで「週4~6日」(28.7%)、「週1~3日」(24.2%)、「食べない」(6.7%)となっている。

男女別でみると、「毎日」は男子(42.7%)が女子(37.9%)より4.8ポイント高くなっている。一方、「週4~6日」は女子(30.7%)が男子(26.7%)より4.0ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「毎日」は平成17年度以降増加傾向にある。

男女別では「毎日」は平成24年度より男子で3.6ポイント増加している。「週4~6日」は平成24年度より女子で3.9ポイント増加している。

図表 2-4-2 家族との夕食摂取状況（就寝時間別、門限の時刻別）



就寝時間別で見ると、「毎日」は就寝時間が早くなるほど割合が高く、「午後10時前」で59.7%と高くなっている。「週4～6日」は「午前1時台」で31.8%と高くなっている。

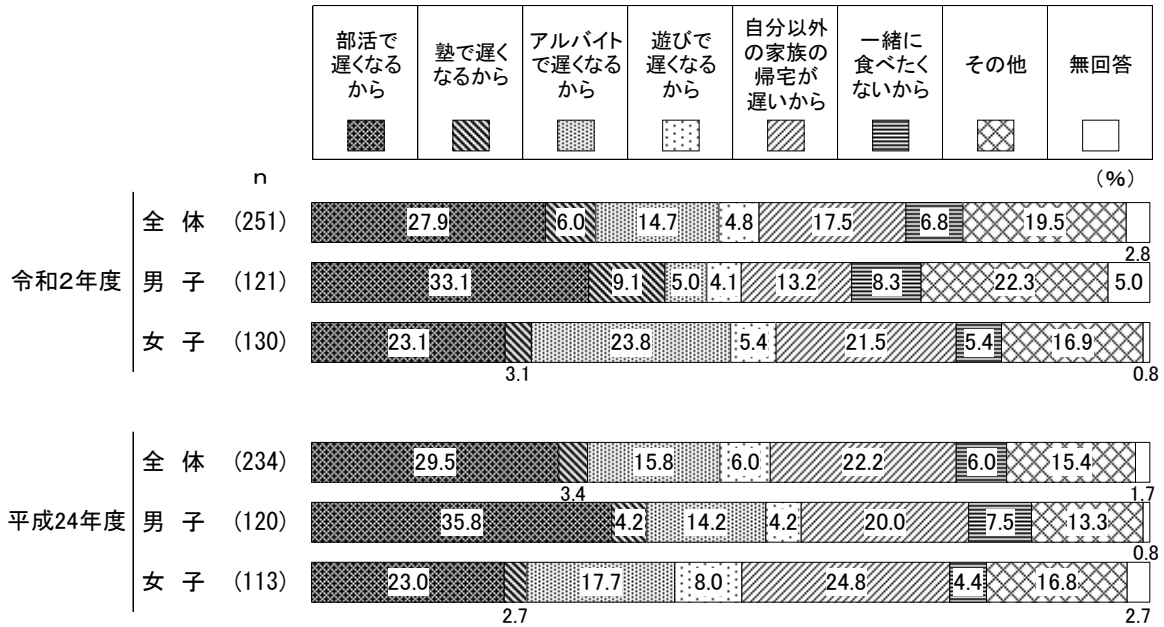
門限の時刻別で見ると、「毎日」は「午後7時前」で59.7%と高くなっている。「週4～6日」は「午後9時から11時前」で34.6%、「午後11時以降」で33.8%と高くなっている。

(5) 夕食を家族と食べない理由

問4で「食べない」と答えた方へ

問4-1 食べない(食べられない)理由は何ですか。最もあてはまる理由1つに○をつけてください。

図表2-5-1 夕食を家族と食べない理由(経年比較)



家族と一緒に夕食を「食べない」と答えた人(251人)に、夕食を家族と食べない理由を聞いたところ、「部活で遅くなるから」が27.9%で最も高く、次いで「自分以外の家族の帰宅が遅いから」(17.5%)、「アルバイトで遅くなるから」(14.7%)、「一緒に食べたくないから」(6.8%)となっている。

男女別で見ると、「アルバイトで遅くなるから」は女子(23.8%)が男子(5.0%)より18.8ポイント、「自分以外の家族の帰宅が遅いから」は女子(21.5%)が男子(13.2%)より8.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「部活で遅くなるから」は男子(33.1%)が女子(23.1%)より10.0ポイント、「塾で遅くなるから」は男子(9.1%)が女子(3.1%)より6.0ポイント、それぞれ高くなっている。

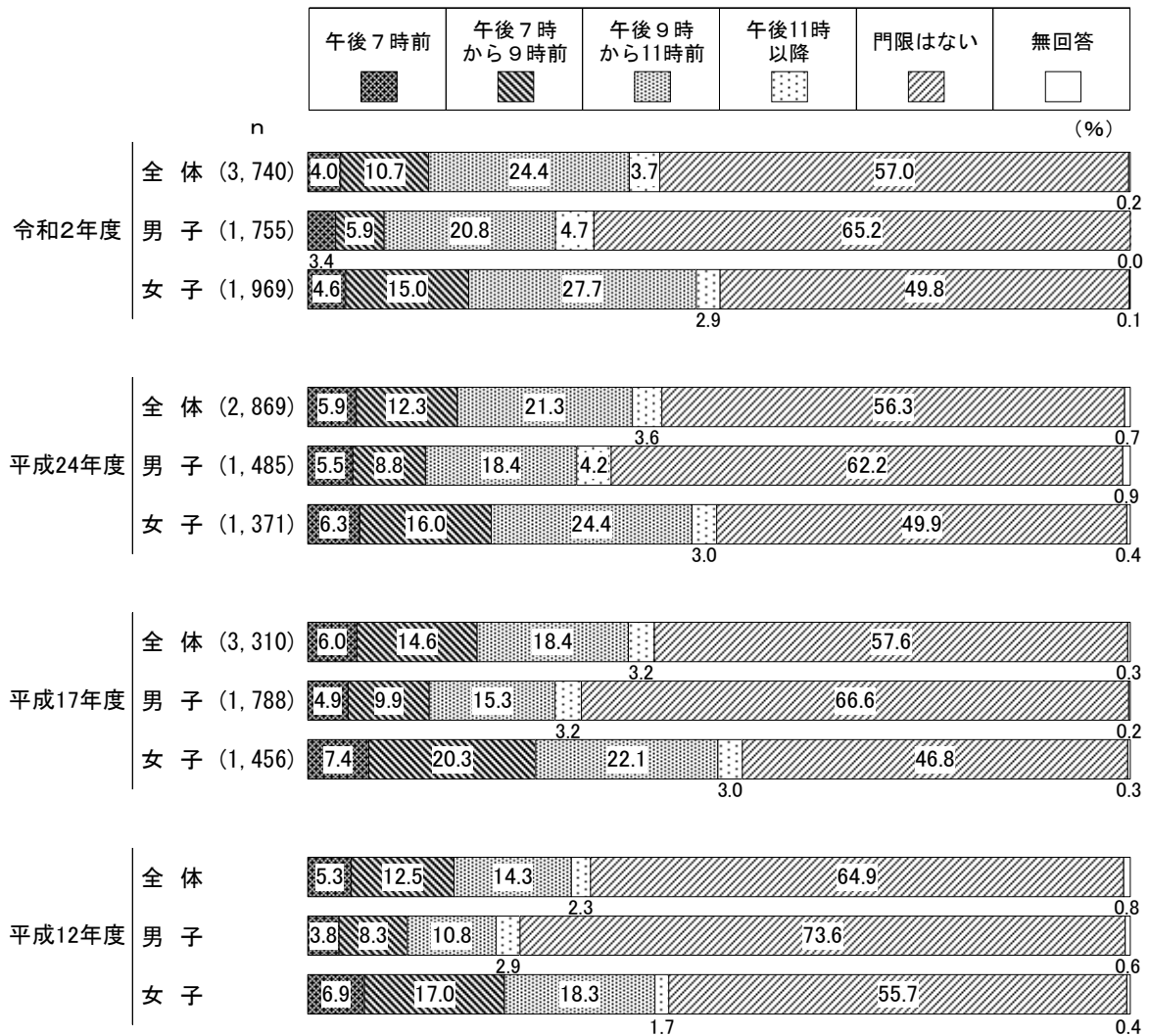
過去の調査と比較すると、全体では「自分以外の家族の帰宅が遅いから」は平成24年度より4.7ポイント減少している。

男女別では「アルバイトで遅くなるから」は平成24年度より女子で6.1ポイント、「塾で遅くなるから」は平成24年度より男子で4.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「アルバイトで遅くなるから」は平成24年度より男子で9.2ポイント、「自分以外の家族の帰宅が遅いから」は平成24年度より男子で6.8ポイント、それぞれ減少している。

## (6) 門限の時刻

問5 門限は何時ですか。

図表2-6-1 門限の時刻（経年比較）



門限の時刻を聞いたところ、「門限はない」が57.0%で最も高く、次いで「午後9時から11時前」(24.4%)、「午後7時から9時前」(10.7%)、「午後7時前」(4.0%)となっている。

男女別でみると、「門限はない」は男子(65.2%)が女子(49.8%)より15.4ポイント高くなっている。一方、「午後7時から9時前」は女子(15.0%)が男子(5.9%)より9.1ポイント、「午後9時から11時前」は女子(27.7%)が男子(20.8%)より6.9ポイント、それぞれ高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「午後9時から11時前」は平成24年度より3.1ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

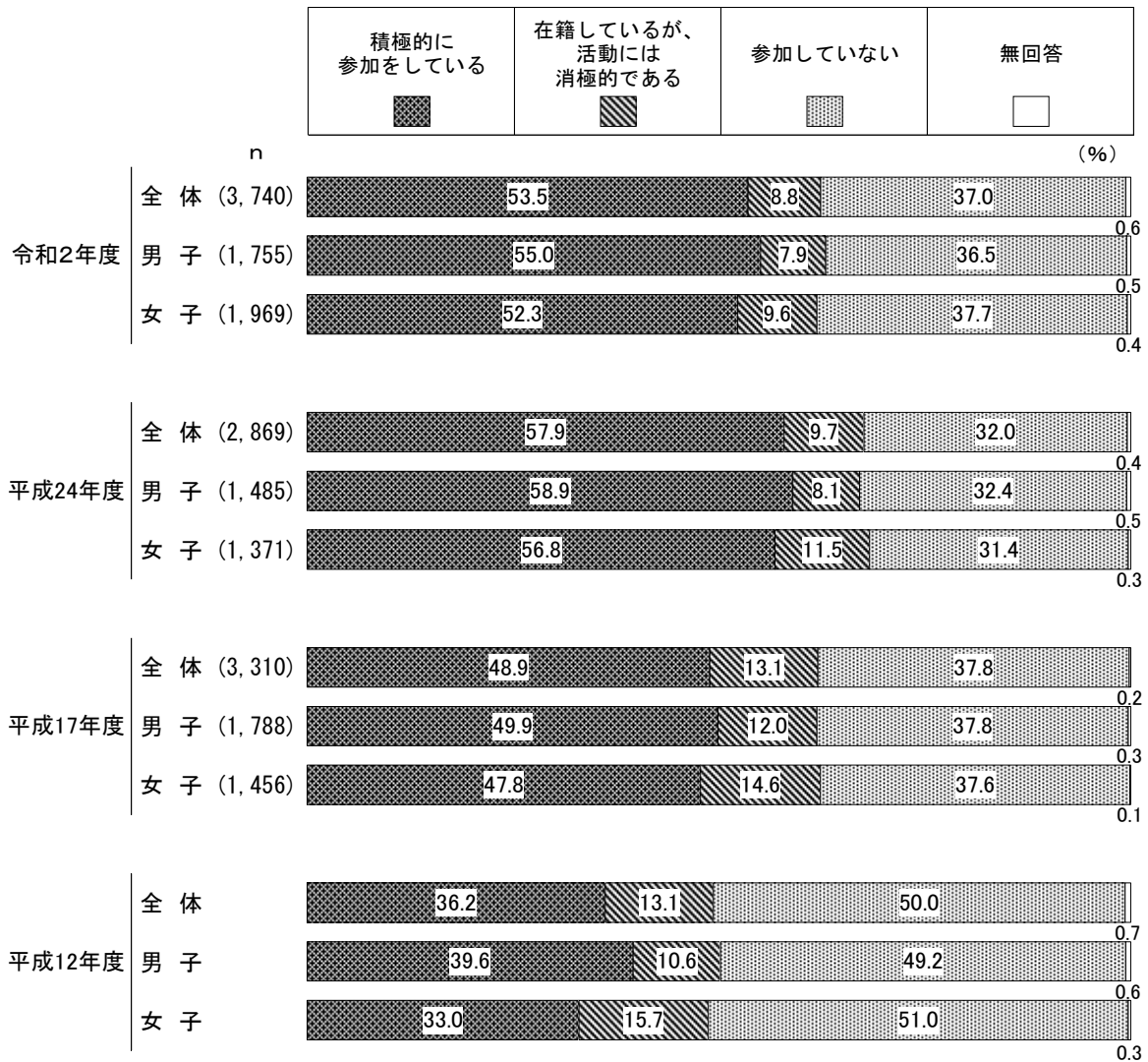
男女別では「午後9時から11時前」は平成24年度より女子で3.3ポイント、「門限はない」は平成24年度より男子で3.0ポイント、それぞれ増加している。



(7) クラブ活動参加状況

問6 クラブ活動は参加していますか。

図表2-7-1 クラブ活動参加状況（経年比較）



クラブ活動は参加しているか聞いたところ、「積極的に参加をしている」が53.5%、「在籍しているが、活動には消極的である」は8.8%となっている。一方、「参加していない」は37.0%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

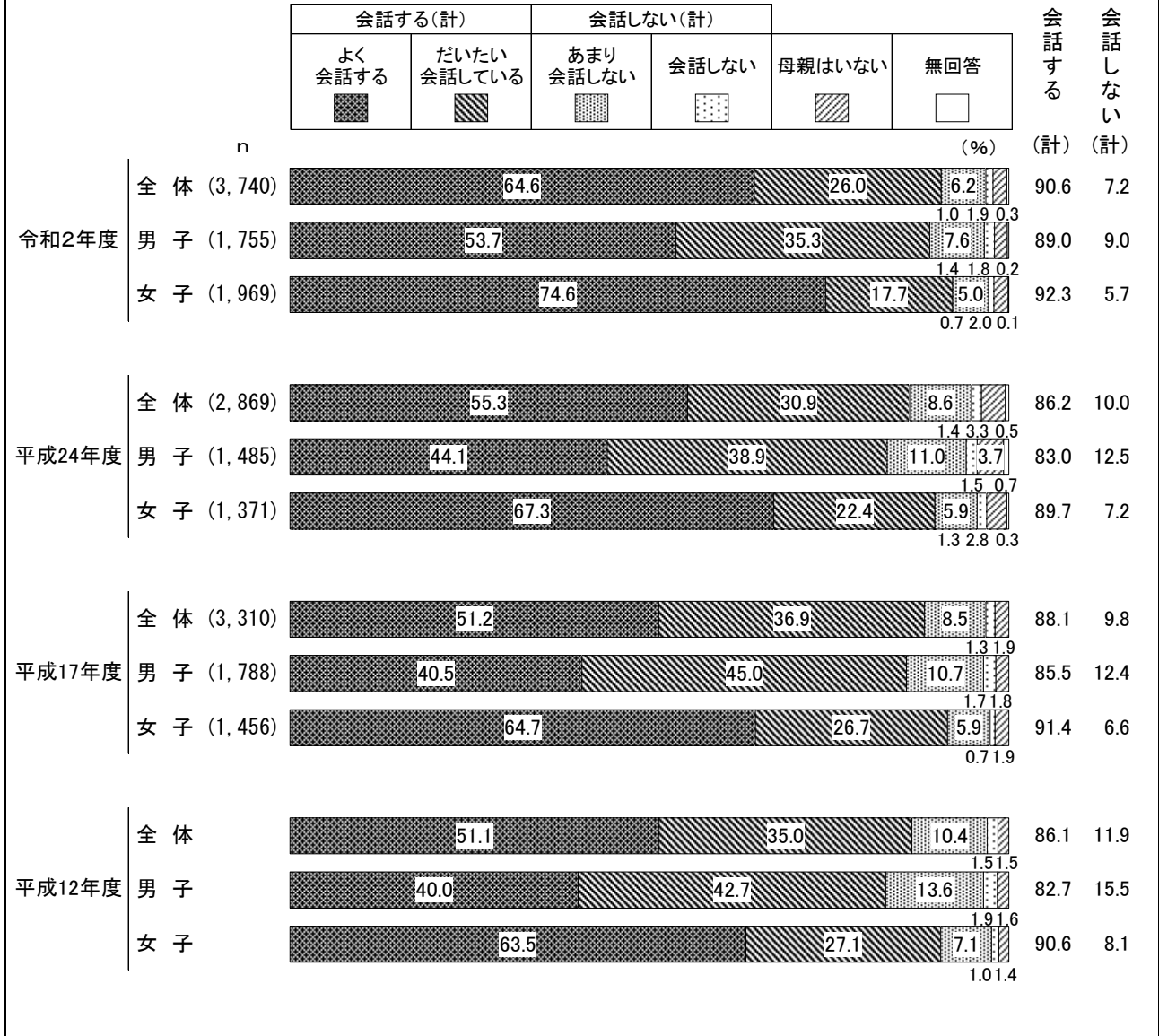
過去の調査と比較すると、全体では「参加していない」は平成24年度より5.0ポイント増加している。一方、「積極的に参加をしている」は平成24年度より4.4ポイント減少している。

男女別では「参加していない」は平成24年度より男子で4.1ポイント、女子で6.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「積極的に参加をしている」は平成24年度より男子で3.9ポイント、女子で4.5ポイント、それぞれ減少している。

(8) 母親との会話の状況

問7 母親と会話をしていますか。

図表2-8-1 母親との会話の状況（経年比較）



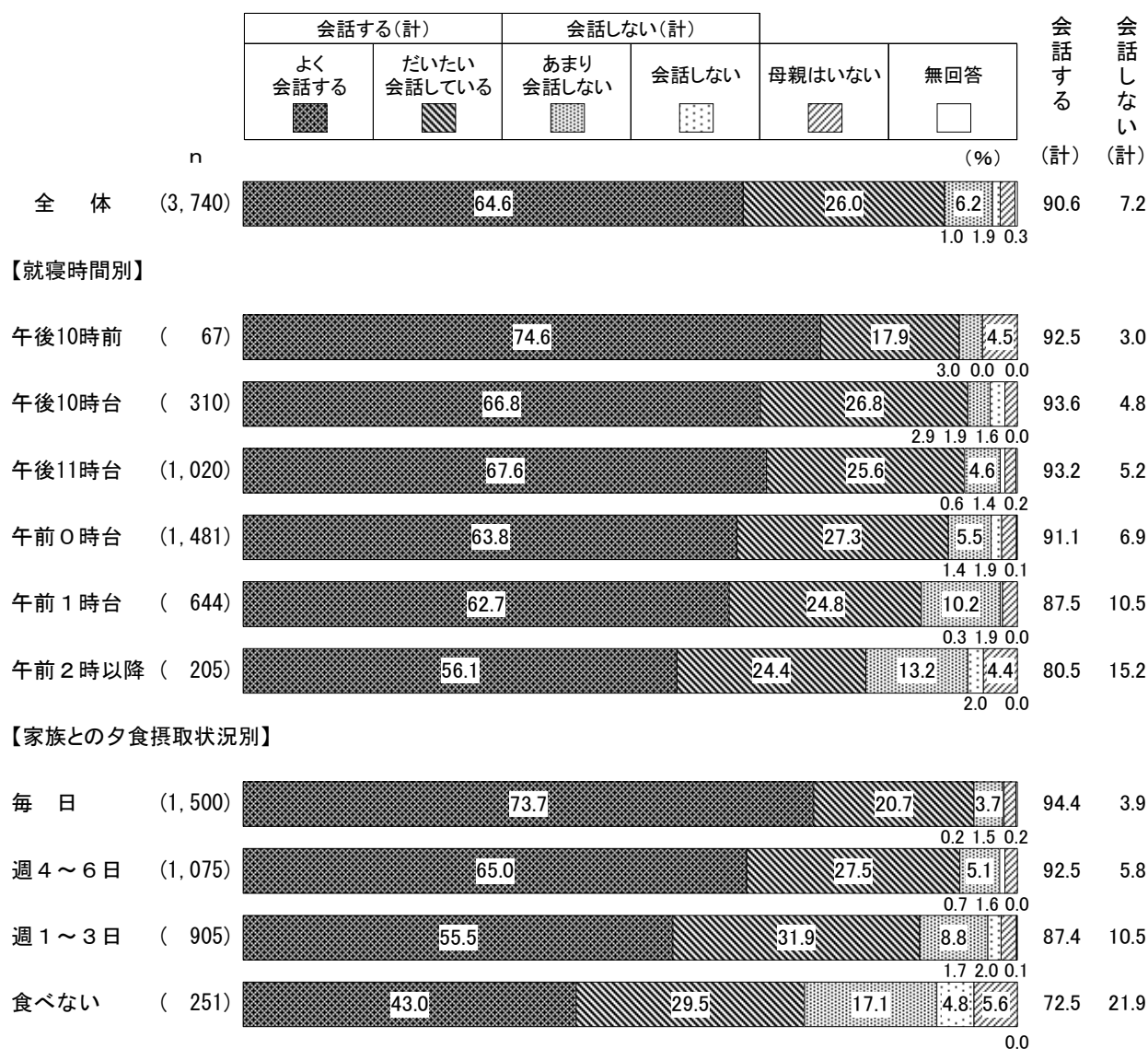
母親と会話をしているか聞いたところ、「よく会話する」が64.6%で最も高く、これに「だいたい会話している」(26.0%)を合わせた『会話する(計)』は90.6%となっている。一方、「あまり会話しない」(6.2%)と「会話しない」(1.0%)を合わせた『会話しない(計)』は7.2%となっている。

男女別でみると、『会話する(計)』は女子(92.3%)が男子(89.0%)より3.3ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では『会話する(計)』は平成24年度より4.4ポイント増加している。

男女別では『会話する(計)』は平成24年度より男子で6.0ポイント増加している。

図表 2-8-2 母親との会話の状況（就寝時間別、家族との夕食摂取状況別）



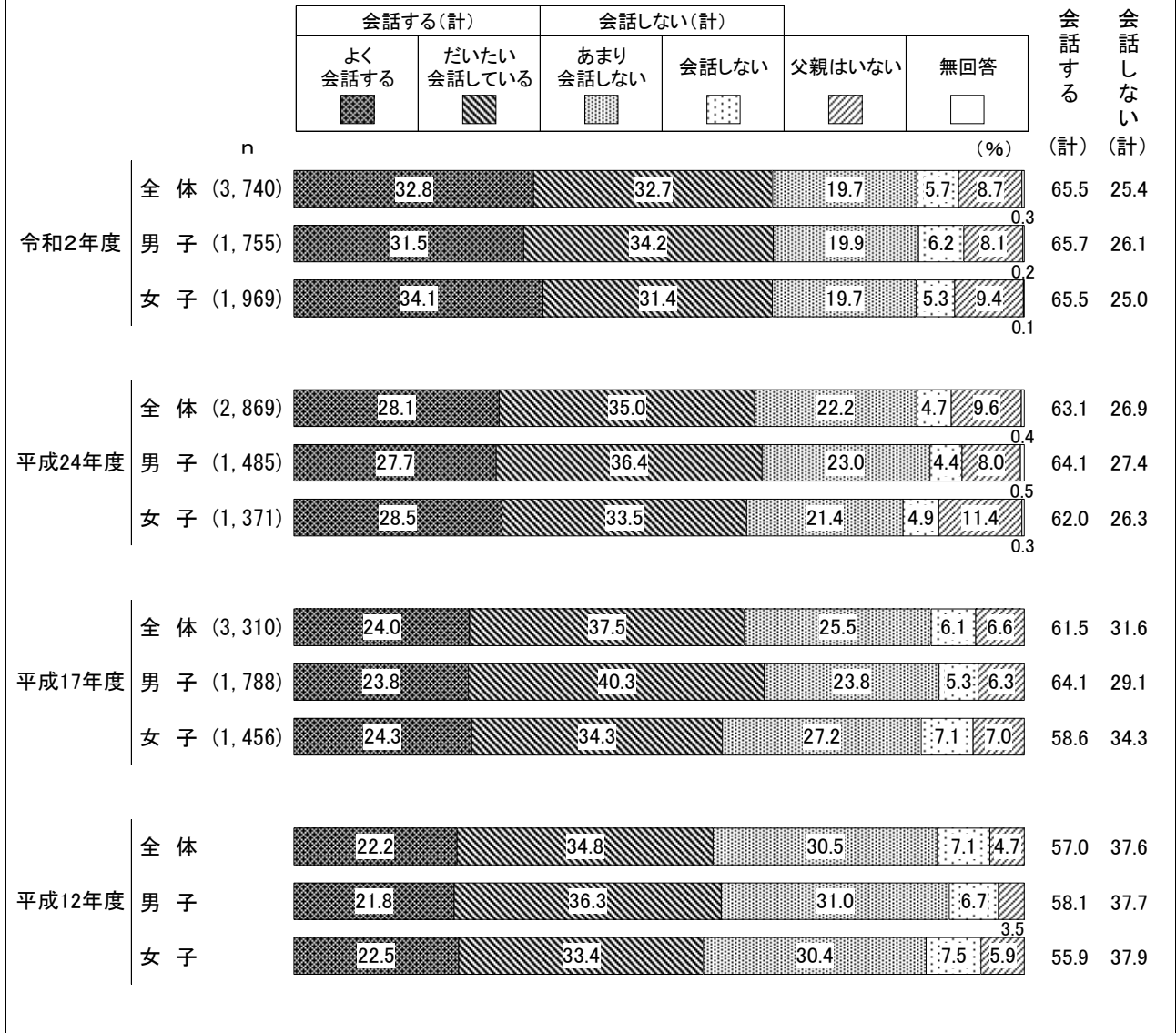
就寝時間別でみると、「よく会話する」はおおむね就寝時間が早くなるほど割合が高く、“午後10時前”で74.6%と高くなっている。

家族との夕食摂取状況別でみると、『会話する(計)』は家族との夕食摂取頻度が高くなるほど割合が高く、“毎日”で94.4%と高くなっている。一方、『会話しない(計)』は“食べない”で21.9%と高くなっている。

(9) 父親との会話の状況

問8 父親と会話をしていますか。

図表2-9-1 父親との会話の状況（経年比較）



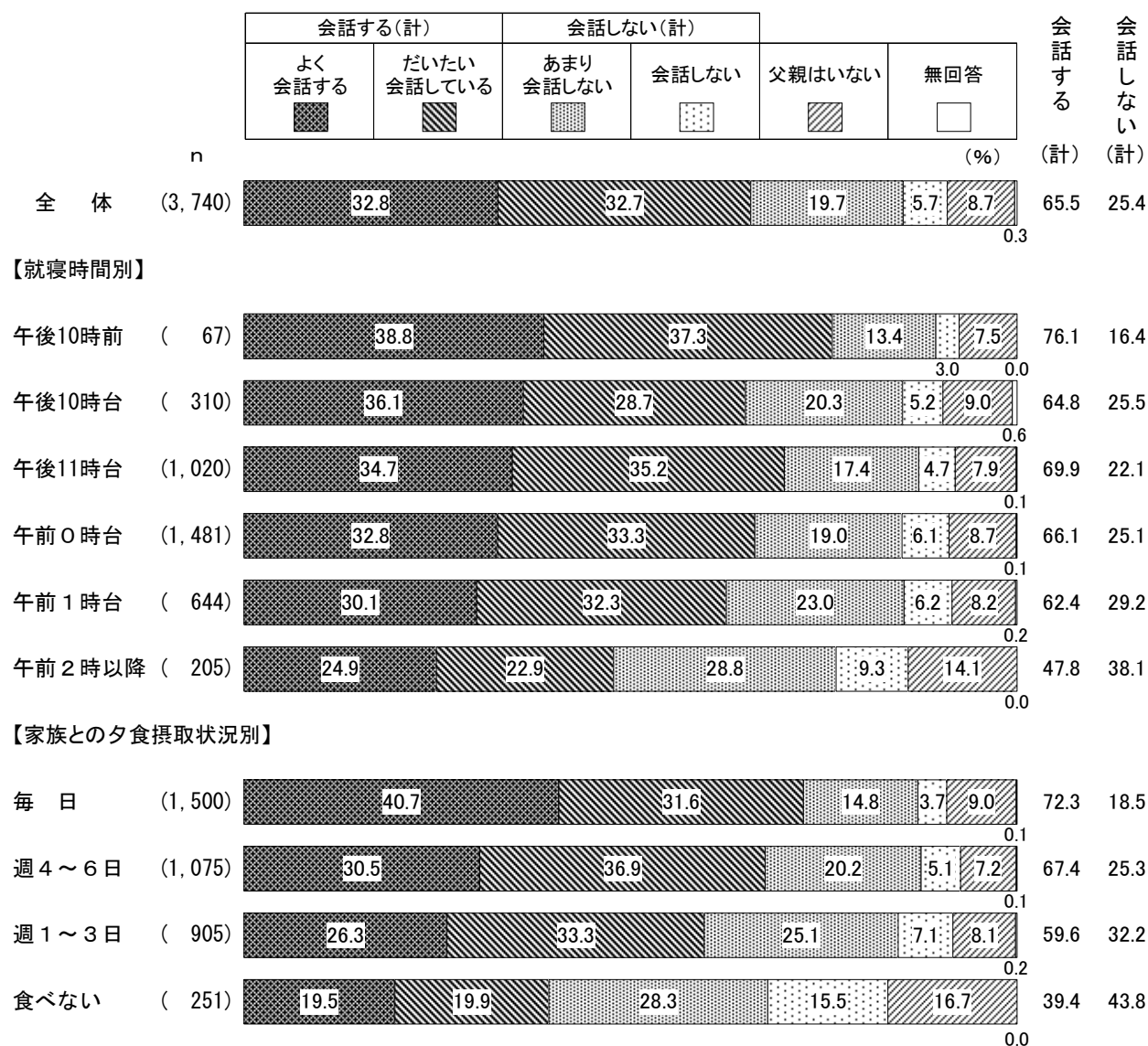
父親と会話をしているか聞いたところ、「よく会話する」が32.8%で最も高く、これに「だいたい会話している」(32.7%)を合わせた『会話する(計)』は65.5%となっている。一方、「あまり会話しない」(19.7%)と「会話しない」(5.7%)を合わせた『会話しない(計)』は25.4%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体では「よく会話する」は平成24年度より4.7ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

男女別では『会話する(計)』は平成24年度より女子で3.5ポイント増加している。

図表 2-9-2 父親との会話の状況（就寝時間別、家族との夕食摂取状況別）



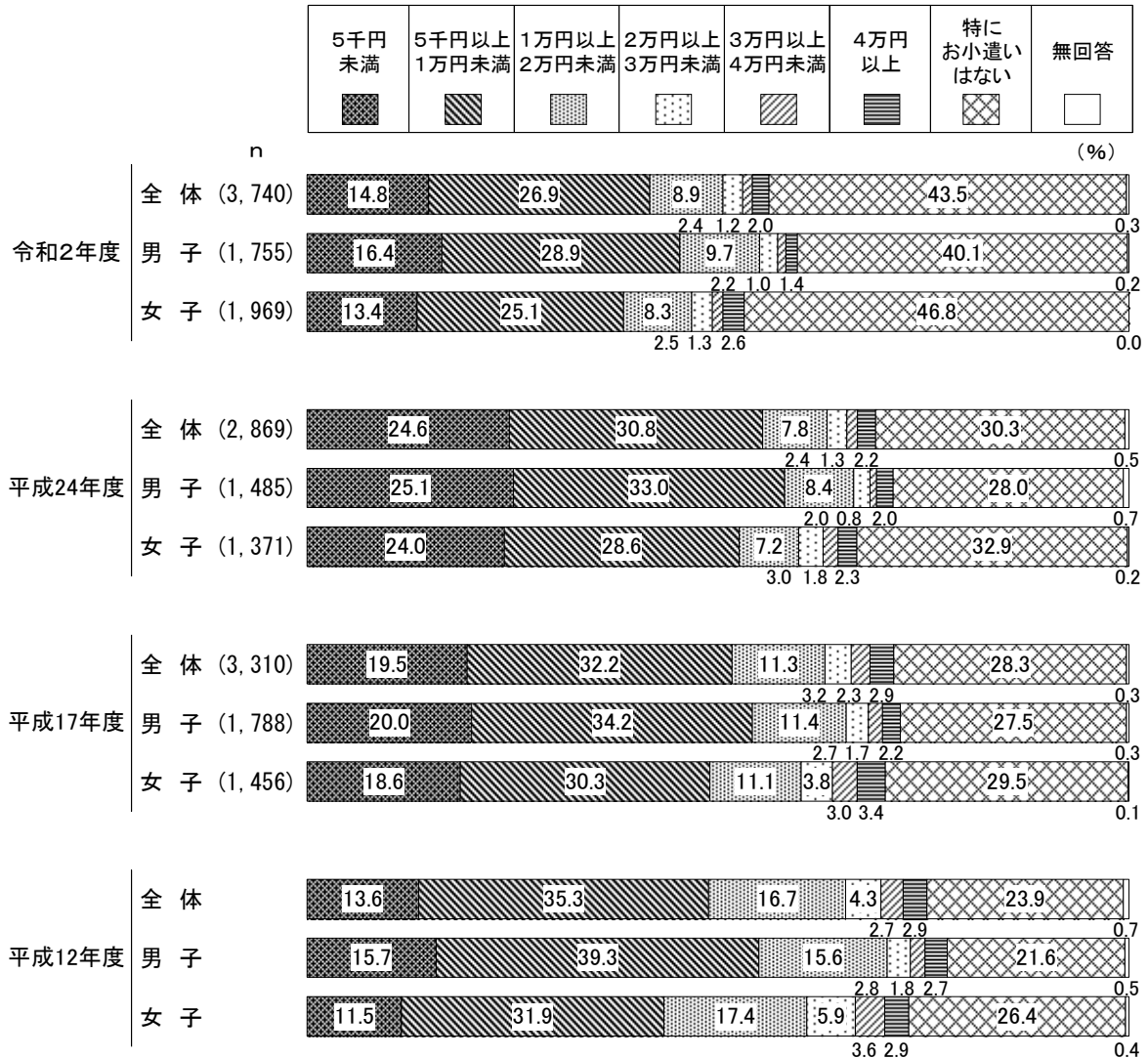
就寝時間別で見ると、「よく会話する」は就寝時間が早くなるほど割合が高く、“午後10時前”で38.8%と高くなっている。『会話する(計)』は“午後10時前”で76.1%と高くなっている。一方、『会話しない(計)』は“午前2時以降”で38.1%と高くなっている。

家族との夕食摂取状況別で見ると、『会話する(計)』は家族との夕食摂取頻度が高くなるほど割合が高く、“毎日”で72.3%と高くなっている。一方、『会話しない(計)』は“食べない”で43.8%と高くなっている。

(10) 毎月の小遣い

問9 お小遣い（自由に使えるお金）は毎月どのくらいですか。

図表2-10-1 毎月の小遣い（経年比較）



お小遣いは毎月どのくらいか聞いたところ、「特にお小遣いはない」が43.5%で最も高く、次いで「5千円以上1万円未満」（26.9%）、「5千円未満」（14.8%）、「1万円以上2万円未満」（8.9%）となっている。

男女別でみると、「特にお小遣いはない」は女子（46.8%）が男子（40.1%）より6.7ポイント高くなっている。一方、「5千円以上1万円未満」は男子（28.9%）が女子（25.1%）より3.8ポイント高くなっている。

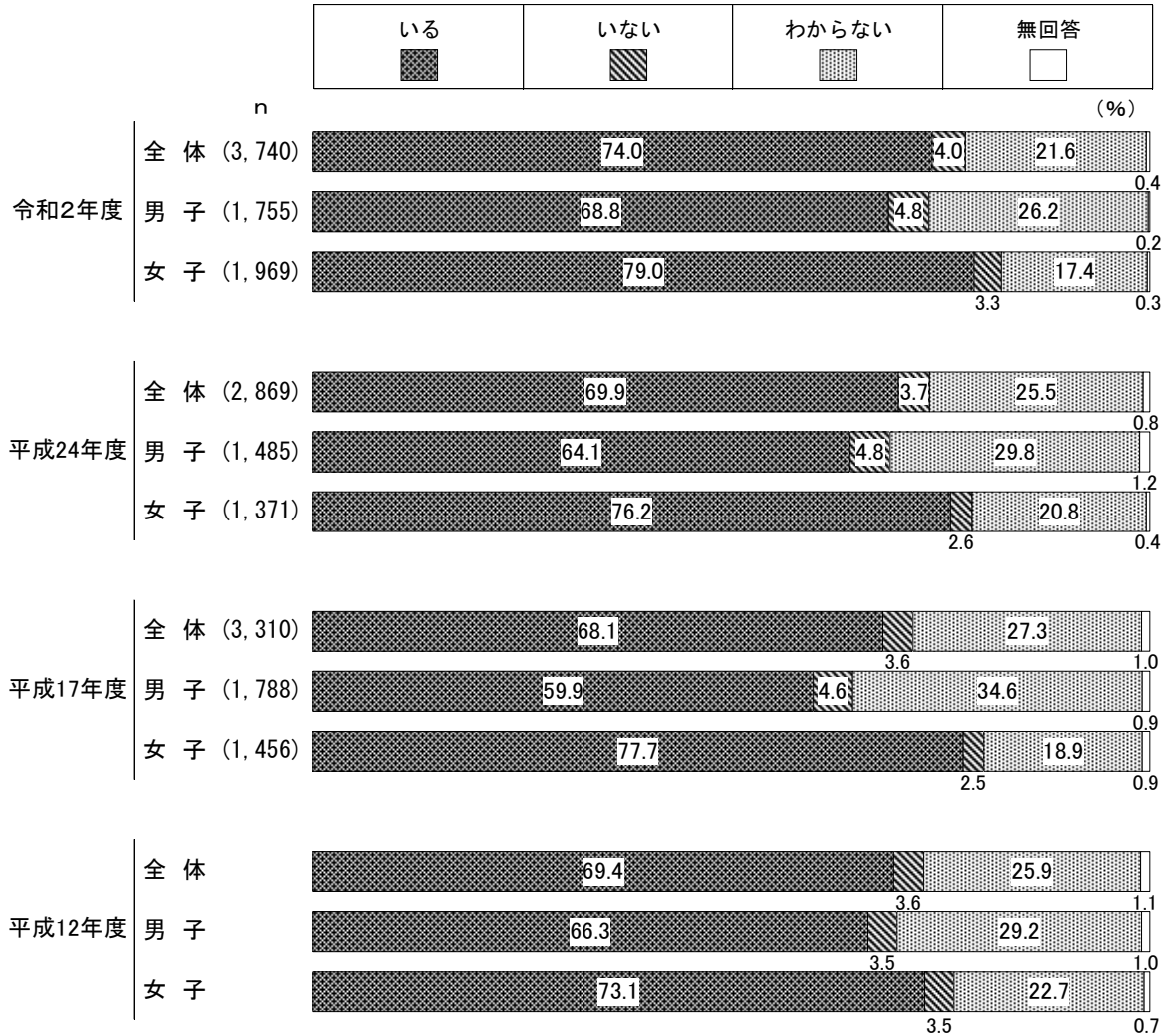
過去の調査と比較すると、全体では「特にお小遣いはない」は平成24年度より13.3ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。一方、「5千円未満」は平成24年度より9.8ポイント減少している。

男女別では「特にお小遣いはない」は平成24年度より男子で12.1ポイント、女子で13.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「5千円未満」は平成24年度より男子で8.7ポイント、女子で10.6ポイント、それぞれ減少している。

(11) 親友の有無

問10 あなたには親友がいますか。いる場合には、カッコ内に親友の人数を書いてください。

図表2-11-1 親友の有無（経年比較）



親友がいるか聞いたところ、「いる」が74.0%、「いない」は4.0%となっている。また、「わからない」は21.6%となっている。

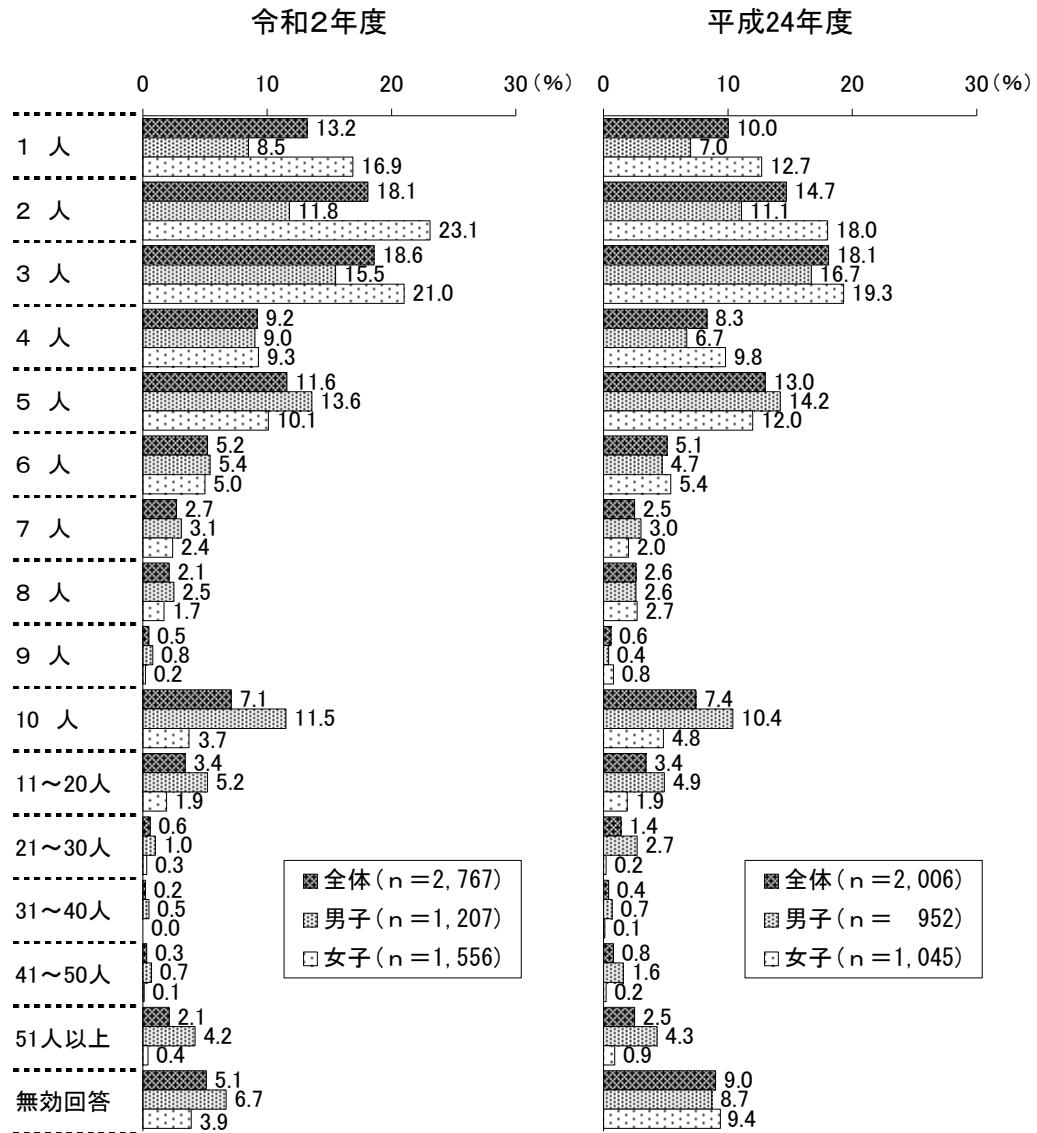
男女別で見ると、「いる」は女子（79.0%）が男子（68.8%）より10.2ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男子（26.2%）が女子（17.4%）より8.8ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「いる」は平成24年度より4.1ポイント増加している。男女別では「いる」は平成24年度より男子で4.7ポイント増加している。

(11-1) 親友の人数

問10 あなたには親友がいますか。いる場合には、カッコ内に親友の人数を書いてください。

図表2-11-2 親友の人数（経年比較）



親友が「いる」と答えた人（2,767人）に、親友の人数を聞いたところ、「3人」が18.6%で最も高く、次いで「2人」（18.1%）、「1人」（13.2%）、「5人」（11.6%）となっている。

男女別でみると、「10人」は男子（11.5%）が女子（3.7%）より7.8ポイント高くなっている。一方、「2人」は女子（23.1%）が男子（11.8%）より11.3ポイント、「1人」は女子（16.9%）が男子（8.5%）より8.4ポイント、それぞれ高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「2人」は平成24年度より3.4ポイント、「1人」は平成24年度より3.2ポイント、それぞれ増加している。

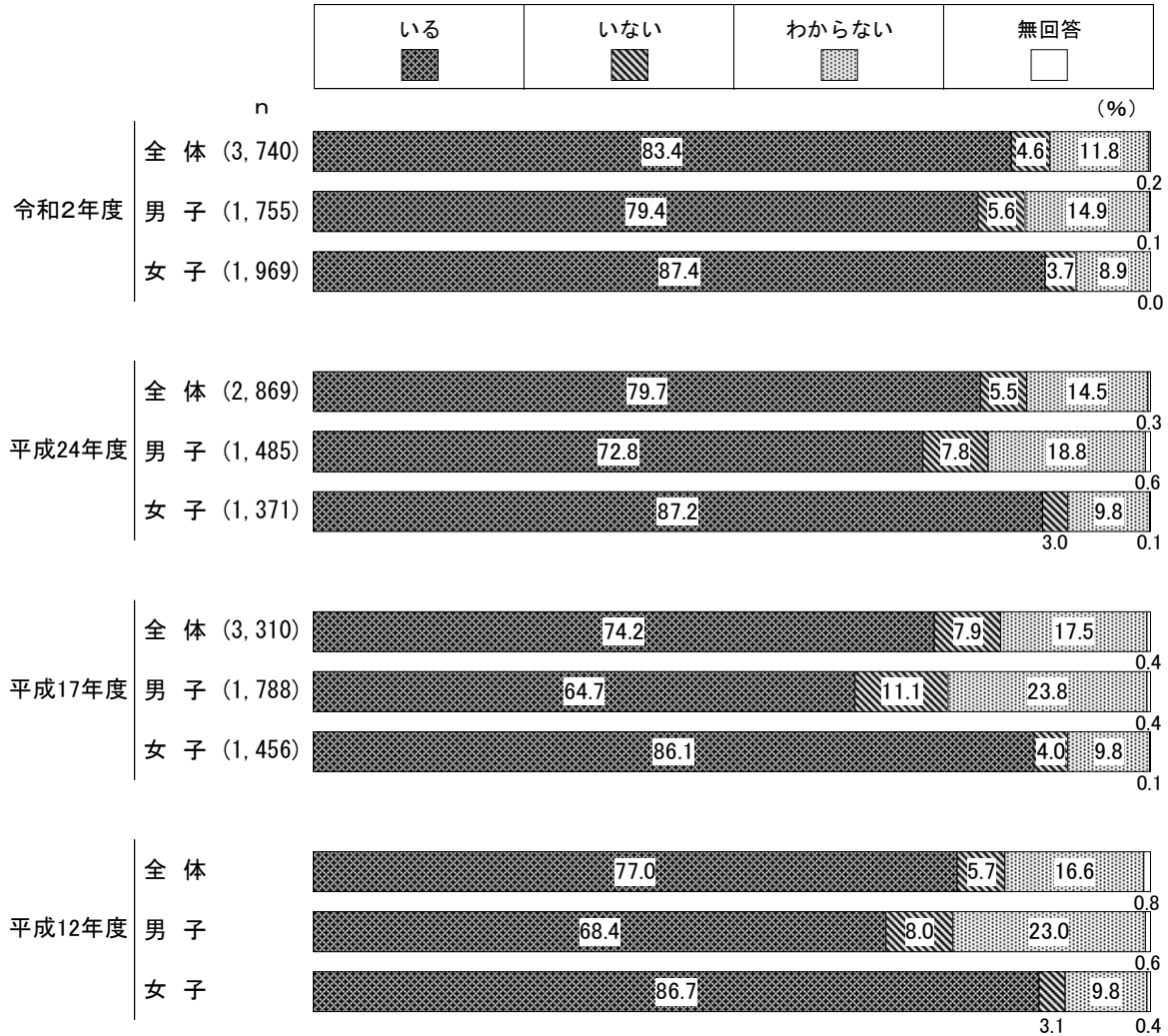
男女別では「2人」は平成24年度より女子で5.1ポイント、「1人」は平成24年度より女子で4.2ポイント、それぞれ増加している。



(12) 悩みの相談相手の有無

問11 悩みを相談できる人はいますか。

図表 2-12-1 悩みの相談相手の有無（経年比較）



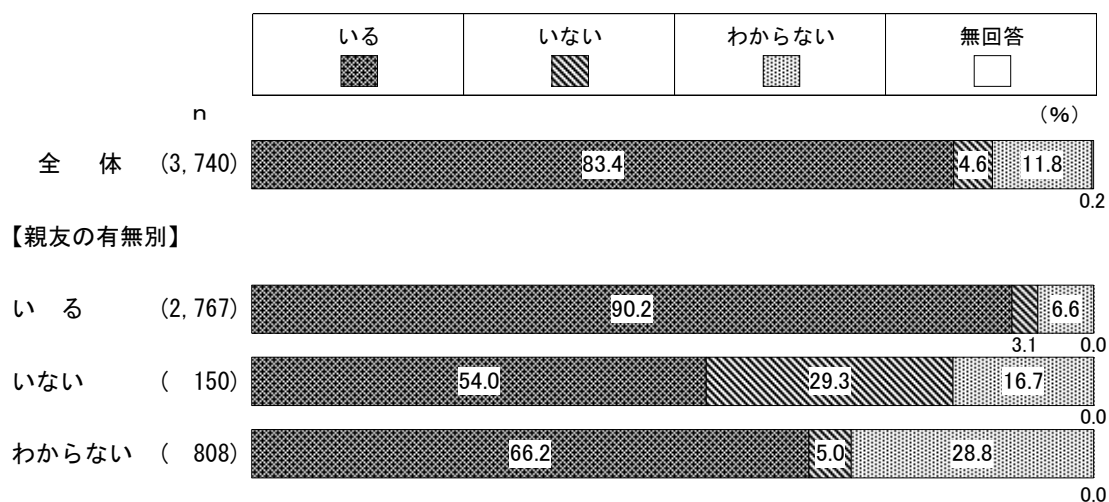
悩みを相談できる人はいるか聞いたところ、「いる」が83.4%、「いない」は4.6%となっている。また、「わからない」は11.8%となっている。

男女別で見ると、「いる」は女子（87.4%）が男子（79.4%）より8.0ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男子（14.9%）が女子（8.9%）より6.0ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「いる」は平成24年度より3.7ポイント増加しており、平成17年度以降増加傾向にある。

男女別では「いる」は平成24年度より男子で6.6ポイント増加している。

図表 2-12-2 悩みの相談相手の有無（親友の有無別）



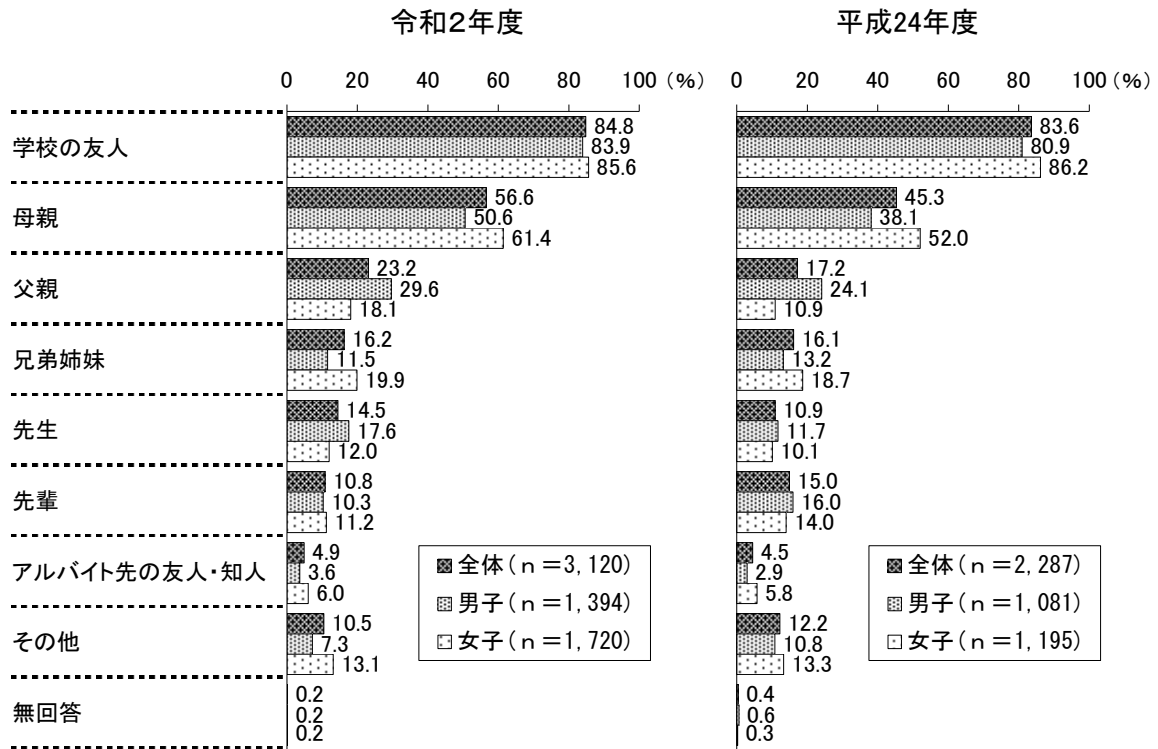
親友の有無別で見ると、「いる」は“親友がいる人”（90.2%）が“親友がいない人”（54.0%）より36.2ポイント高くなっている。一方、「いない」は“親友がいない人”（29.3%）が“親友がいる人”（3.1%）より26.2ポイント高くなっている。

(13) 悩みの相談相手

問11で「いる」と答えた方へ

問11-1 相談できる人とは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表2-13-1 悩みの相談相手（経年比較）[複数回答]



悩みを相談できる人が「いる」と答えた人（3,120人）に、悩みの相談相手を聞いたところ、「学校の友人」が84.8%で最も高く、次いで「母親」（56.6%）、「父親」（23.2%）、「兄弟姉妹」（16.2%）となっている。

男女別で見ると、「父親」は男子（29.6%）が女子（18.1%）より11.5ポイント、「先生」は男子（17.6%）が女子（12.0%）より5.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「母親」は女子（61.4%）が男子（50.6%）より10.8ポイント、「兄弟姉妹」は女子（19.9%）が男子（11.5%）より8.4ポイント、それぞれ高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「母親」は平成24年度より11.3ポイント、「父親」は平成24年度より6.0ポイント、それぞれ増加している。一方、「先輩」は平成24年度より4.2ポイント減少している。

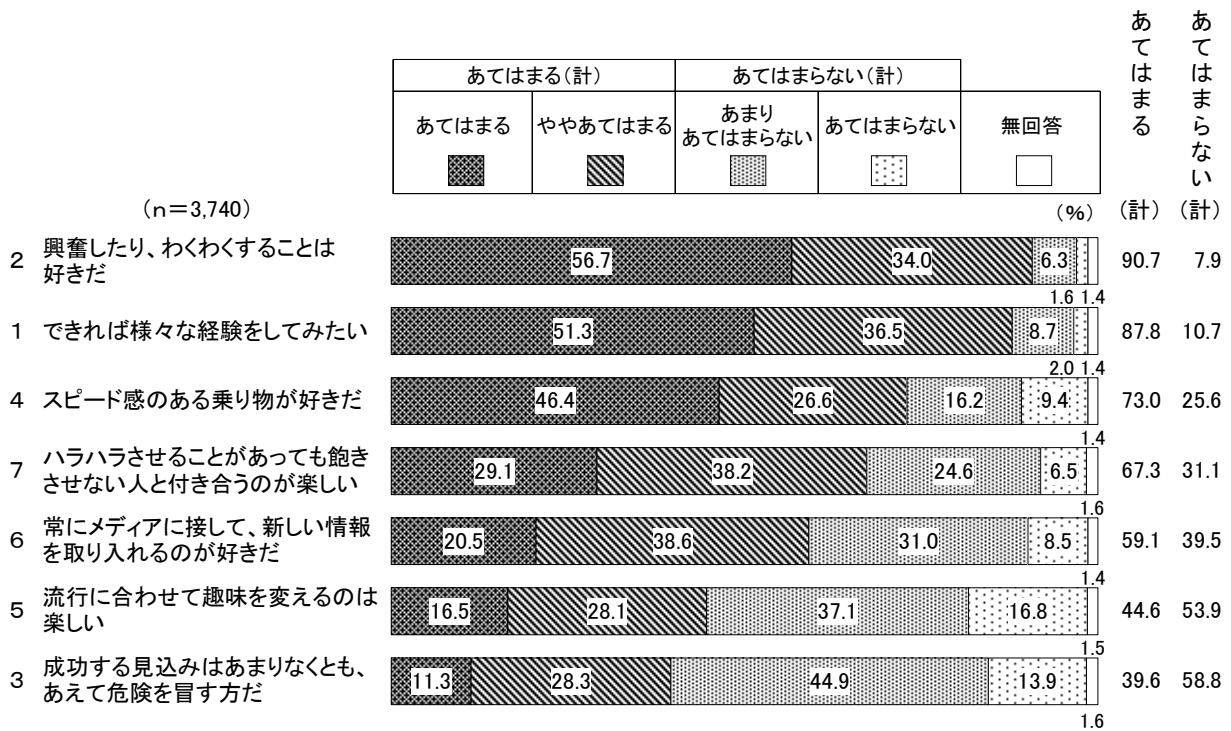
男女別では「母親」は平成24年度より男子で12.5ポイント、女子で9.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「先輩」は平成24年度より男子で5.7ポイント減少している。

(14) 日頃の意識

①刺激欲求意識

問12 次の16の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

図表 2-14-1 日頃の意識-①刺激欲求意識

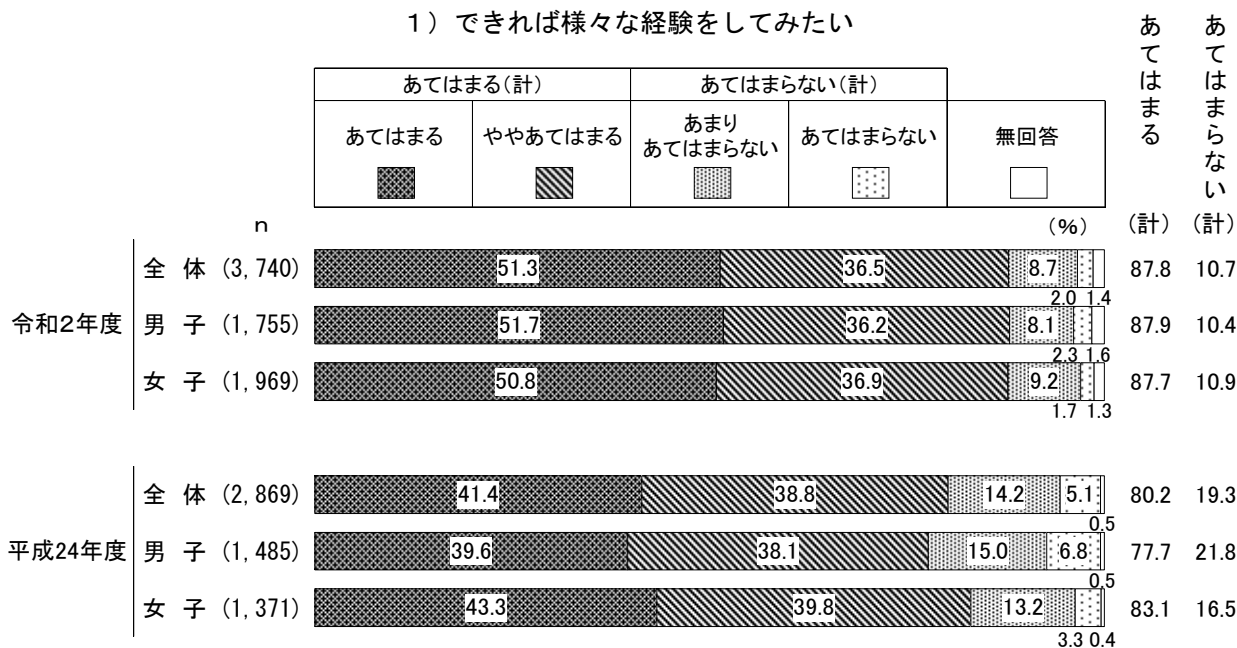


スリルがあること、危険なことに対する欲求を7項目に分けて聞いたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、“興奮したり、わくわくすることは好きだ”で90.7%と最も高く、次いで“できれば様々な経験をしてみたい”(87.8%)、“スピード感のある乗り物が好きだ”(73.0%)となっている。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた『あてはまらない(計)』は、“成功する見込みはあまりなくとも、あえて危険を冒す方だ”で58.8%と最も高く、次いで“流行に合わせて趣味を変えるのは楽しい”(53.9%)、“常にメディアに接して、新しい情報を取り入れるのが好きだ”(39.5%)となっている。

図表 2-14-2 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

1) できれば様々な経験をしてみたい

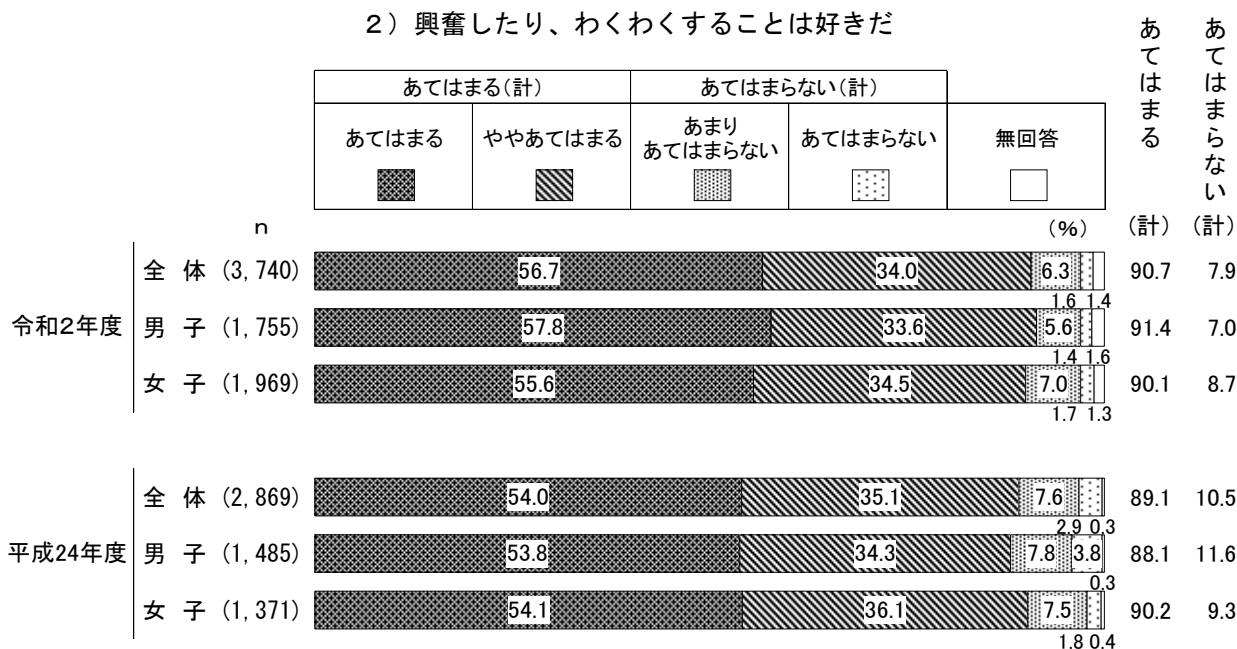


「できれば様々な経験をしてみたい」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる（計）』は平成24年度より7.6ポイント増加している。

男女別では『あてはまる（計）』は平成24年度より男子で10.2ポイント、女子で4.6ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-3 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

2) 興奮したり、わくわくすることは好きだ

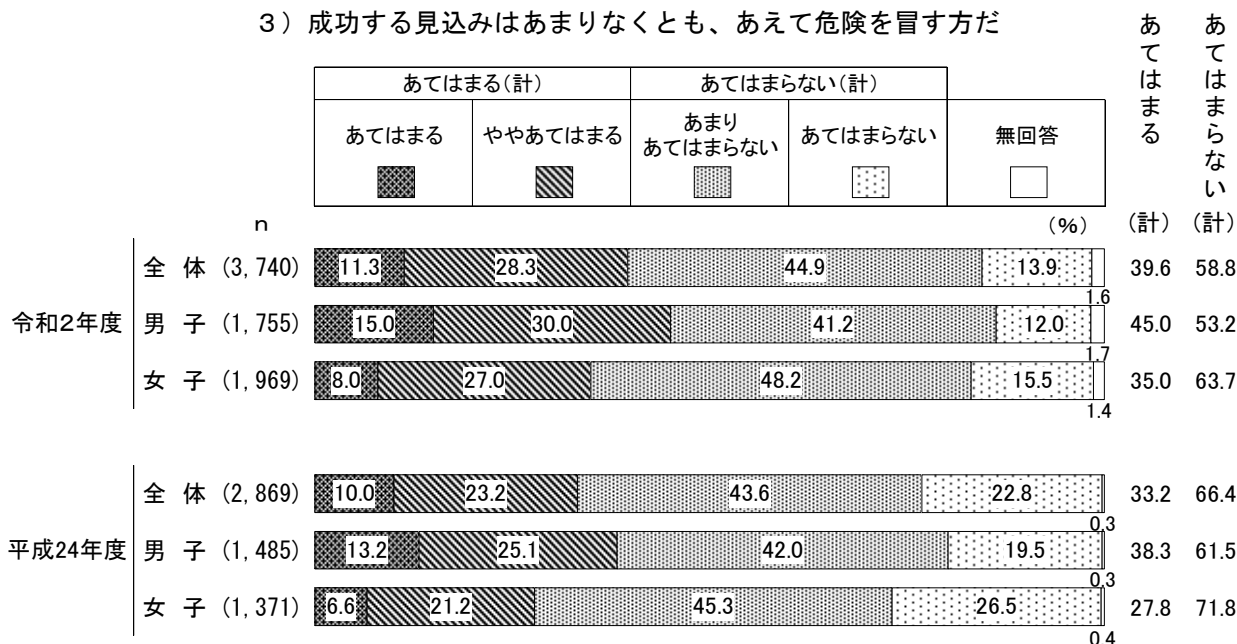


「興奮したり、わくわくすることは好きだ」を過去の調査と比較すると、全体では大きな傾向の変化はみられない。

男女別では『あてはまる（計）』は平成24年度より男子で3.3ポイント増加している。

図表 2-14-4 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

3) 成功する見込みはあまりなくとも、あえて危険を冒す方だ

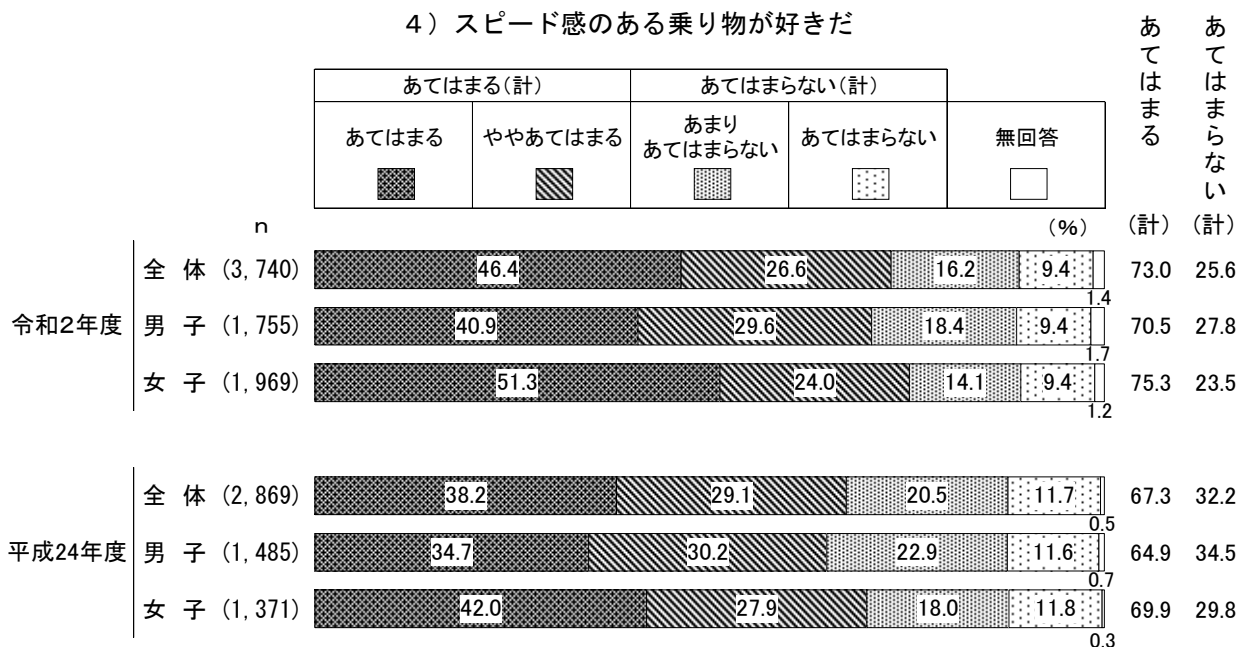


「成功する見込みはあまりなくとも、あえて危険を冒す方だ」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる（計）』は平成24年度より6.4ポイント増加している。

男女別では『あてはまる（計）』は平成24年度より男子で6.7ポイント、女子で7.2ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-5 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

4) スピード感のある乗り物が好きだ

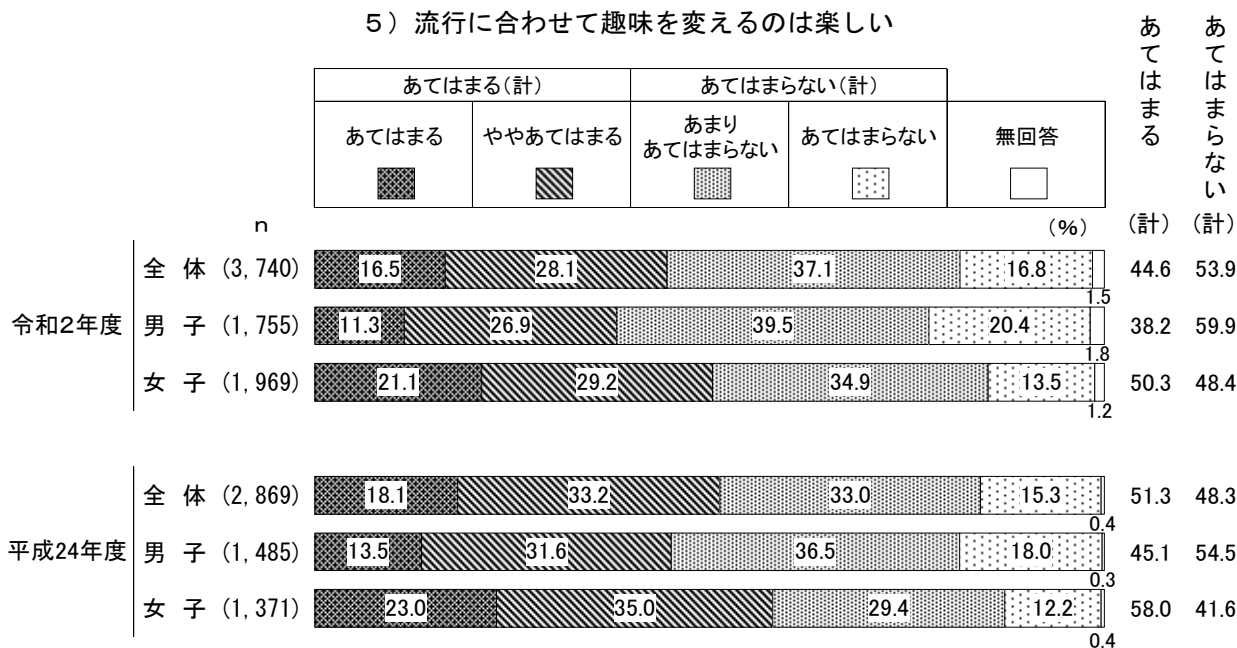


「スピード感のある乗り物が好きだ」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる（計）』は平成24年度より5.7ポイント増加している。

男女別では『あてはまる（計）』は平成24年度より男子で5.6ポイント、女子で5.4ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-6 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

5) 流行に合わせて趣味を変えるのは楽しい

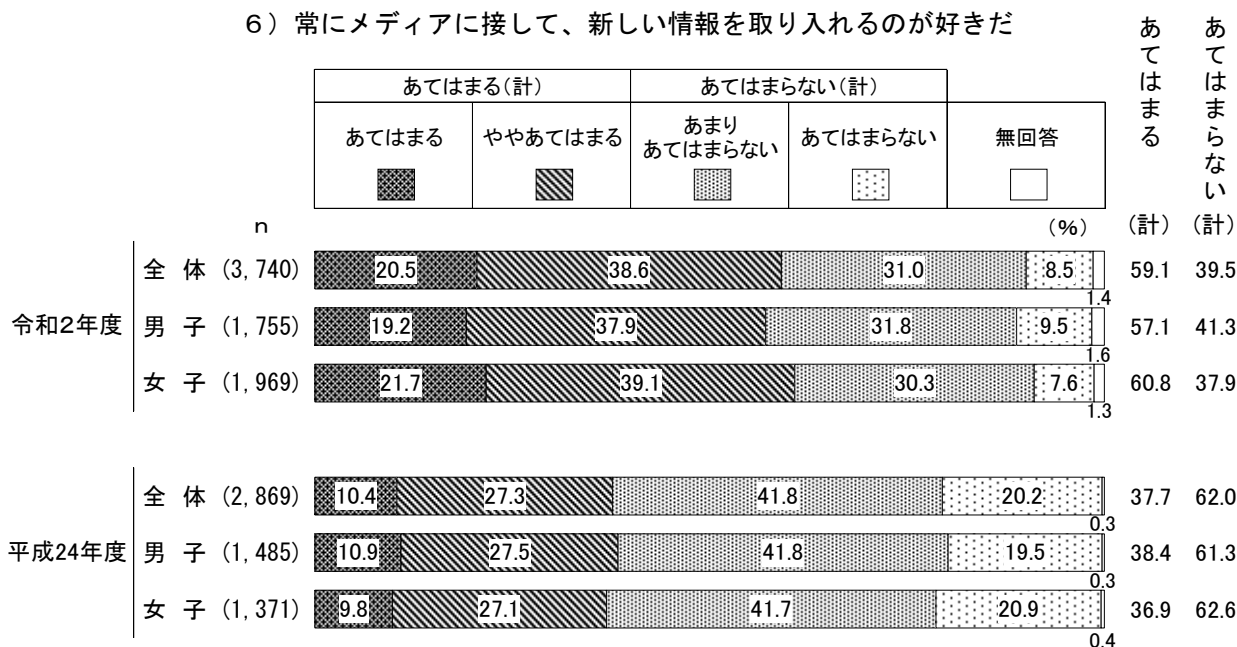


「流行に合わせて趣味を変えるのは楽しい」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまらない(計)』は平成24年度より5.6ポイント増加している。

男女別では『あてはまらない(計)』は平成24年度より男子で5.4ポイント、女子で6.8ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-7 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

6) 常にメディアに接して、新しい情報を取り入れるのが好きだ

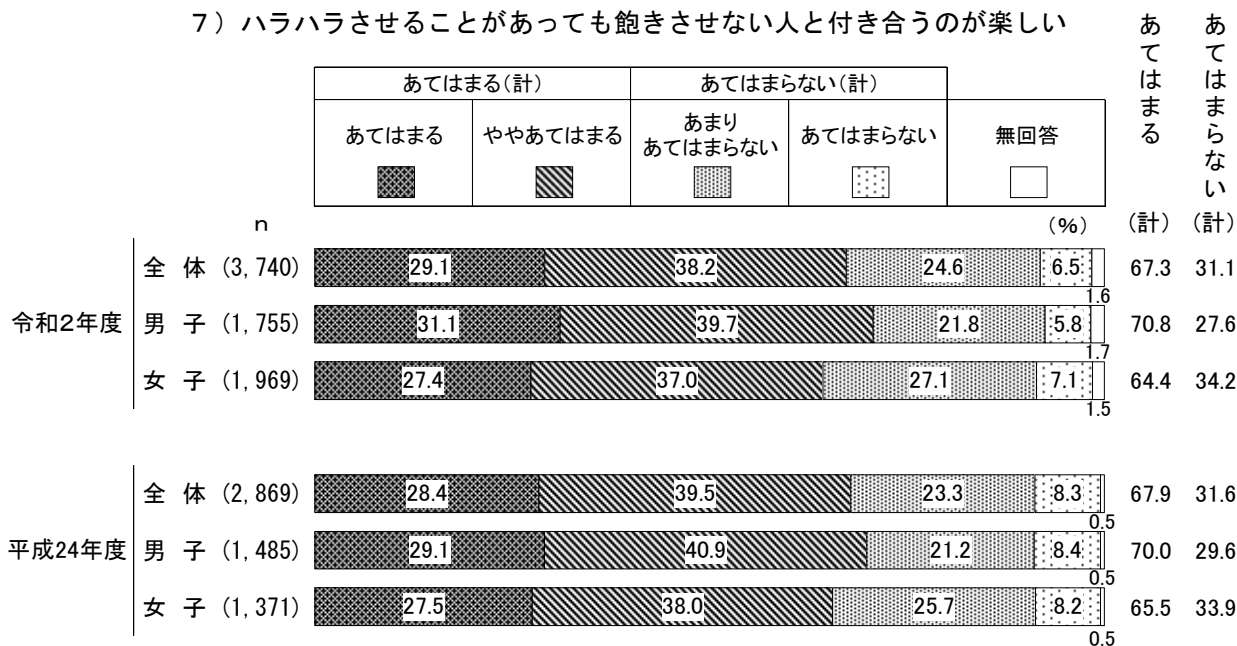


「常にメディアに接して、新しい情報を取り入れるのが好きだ」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より21.4ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で18.7ポイント、女子で23.9ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-8 日頃の意識-①刺激欲求意識（経年比較）

7) ハラハラさせることがあっても飽きさせない人と付き合うのが楽しい



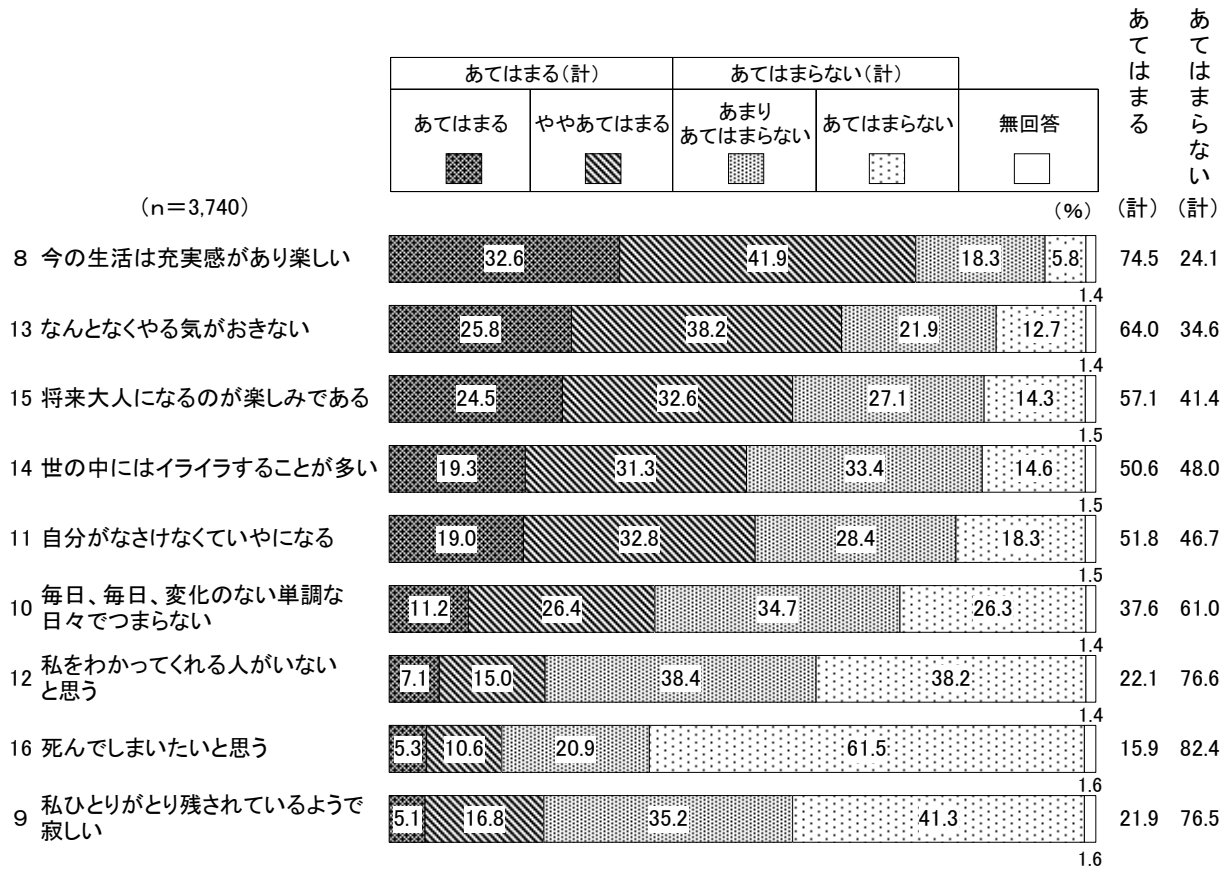
「ハラハラさせることがあっても飽きさせない人と付き合うのが楽しい」を過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。



②生活感情意識

問12 次の16の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

図表2-14-9 日頃の意識-②生活感情意識

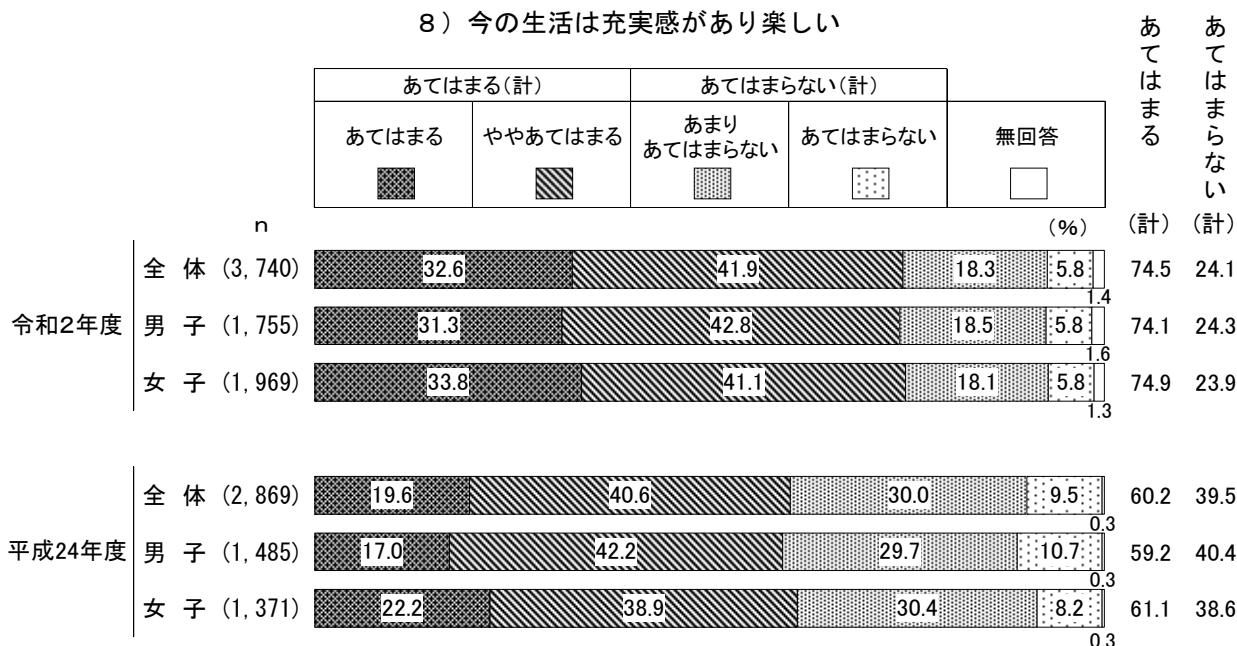


日常生活での感情や生きがいなどについて9項目に分けて聞いたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、“今の生活は充実感があり楽しい”で74.5%と最も高く、次いで“なんとなくやる気がおきない”(64.0%)、“将来大人になるのが楽しみである”(57.1%)となっている。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた『あてはまらない(計)』は、“死んでしまいたいと思う”で82.4%と最も高く、次いで“私をわかってくれる人がいないと思う”(76.6%)、“私ひとりだけがとり残されているようで寂しい”(76.5%)となっている。

図表 2-14-10 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

8) 今の生活は充実感があり楽しい

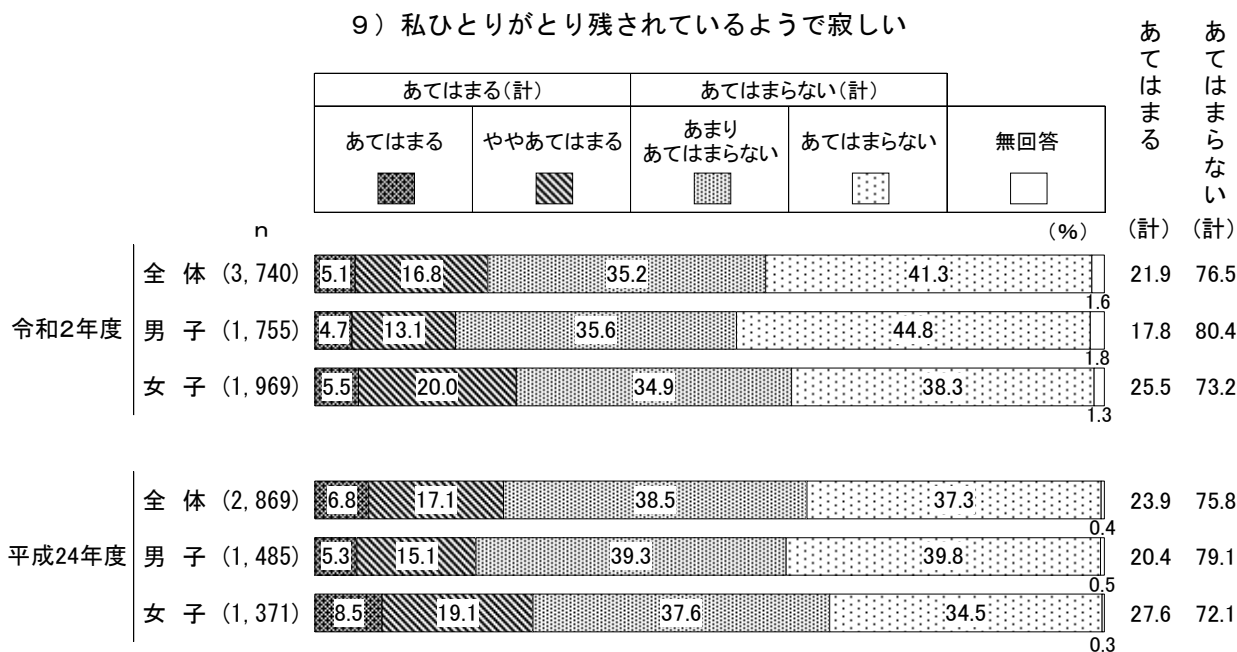


※「今の生活は充実感があり楽しい」は、平成24年度では「生活に充実感で満ちた楽しさがある」としていた

「今の生活は充実感があり楽しい」の過去の調査との比較は、項目の文言が異なるので参考に図示する。

図表 2-14-11 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

9) 私ひとりがとり残されているようで寂しい

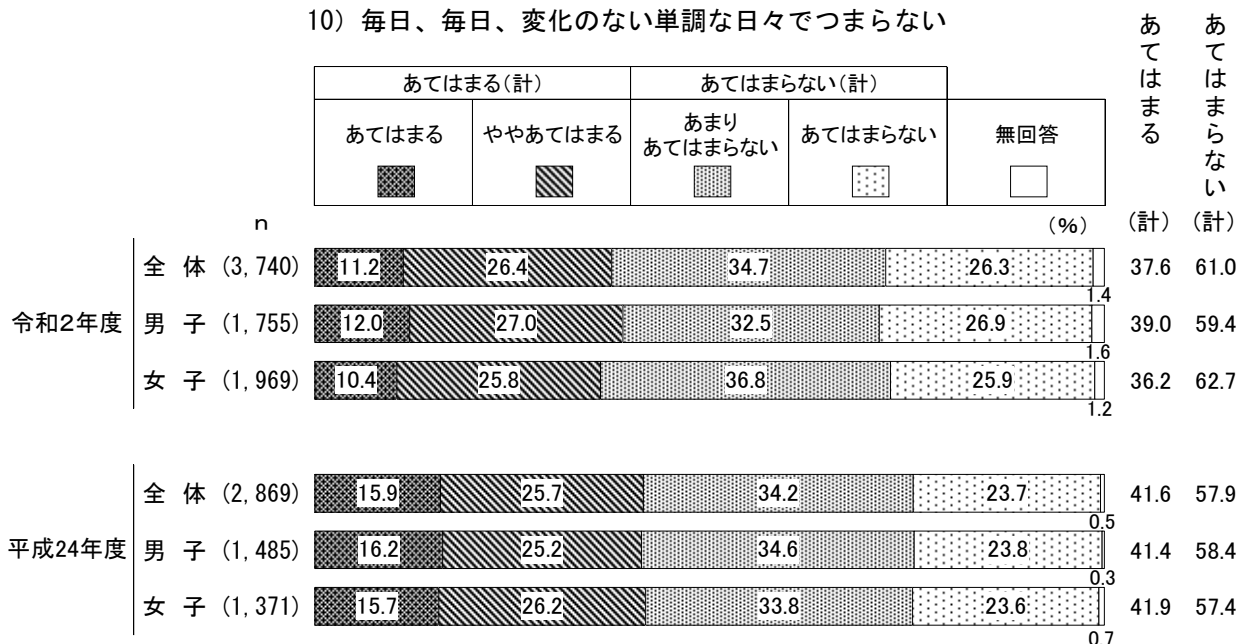


「私ひとりがとり残されているようで寂しい」を過去の調査と比較すると、全体では「あてはまらない」は平成24年度より4.0ポイント増加している。

男女別では「あてはまらない」は平成24年度より男子で5.0ポイント、女子で3.8ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-12 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

10) 毎日、毎日、変化のない単調な日々でつまらない

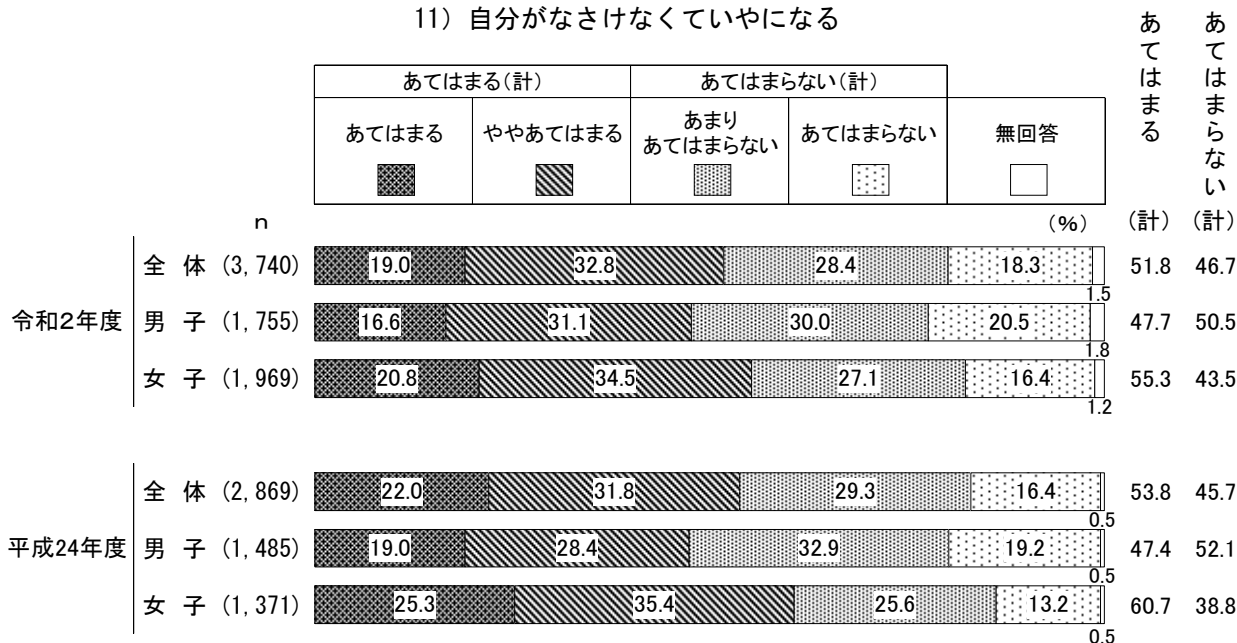


「毎日、毎日、変化のない単調な日々でつまらない」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまらない(計)』は平成24年度より3.1ポイント増加している。

男女別では『あてはまらない(計)』は平成24年度より女子で5.3ポイント増加している。

図表 2-14-13 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

11) 自分がなさけなくていやになる

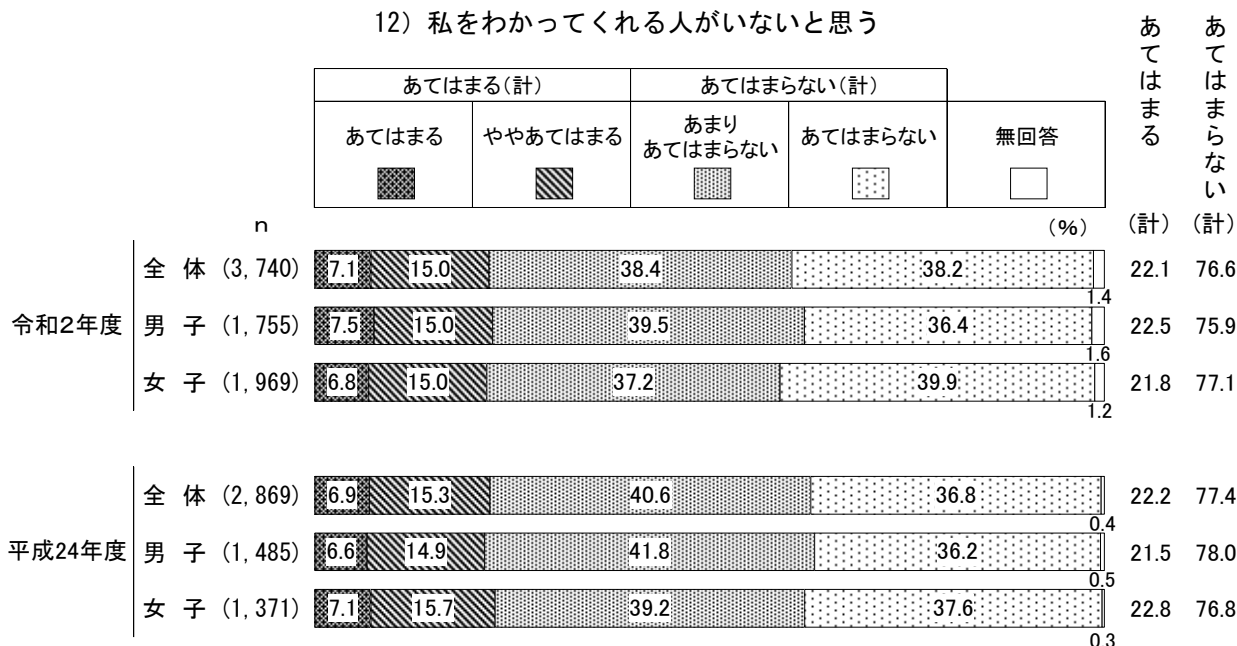


「自分がなさけなくていやになる」を過去の調査と比較すると、全体では大きな傾向の変化はみられない。

男女別では『あてはまらない(計)』は平成24年度より女子で4.7ポイント増加している。

図表 2-14-14 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

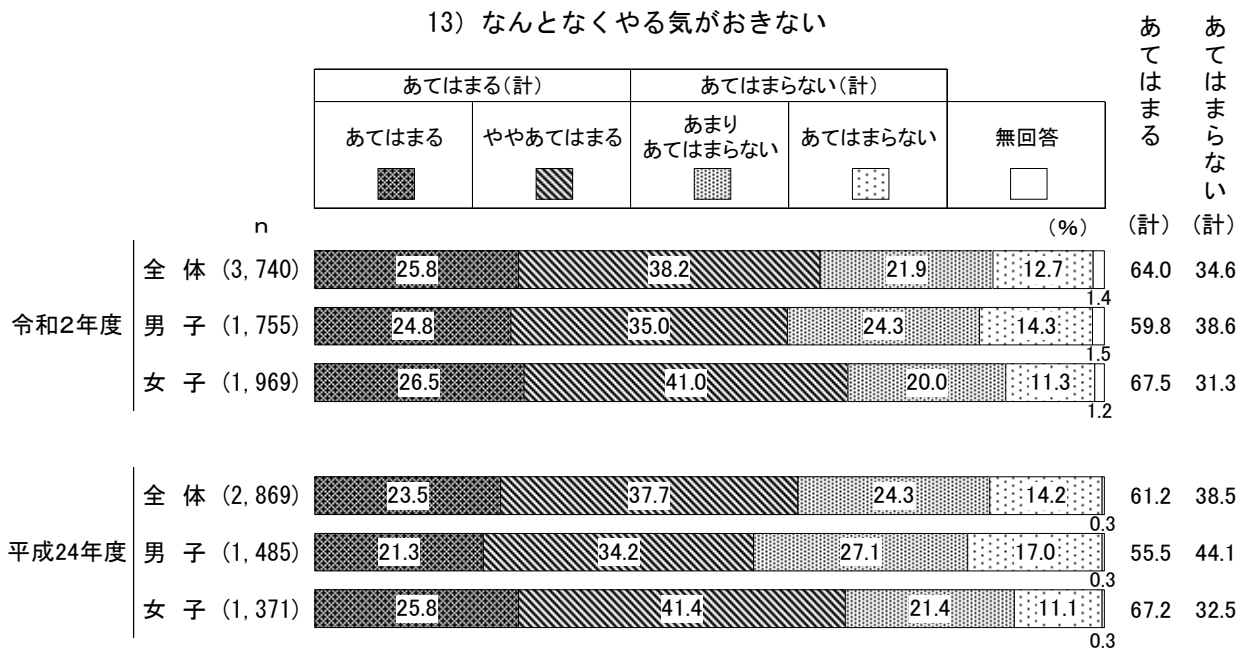
12) 私をわかってくれる人がいないと思う



「私をわかってくれる人がいないと思う」を過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

図表 2-14-15 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)

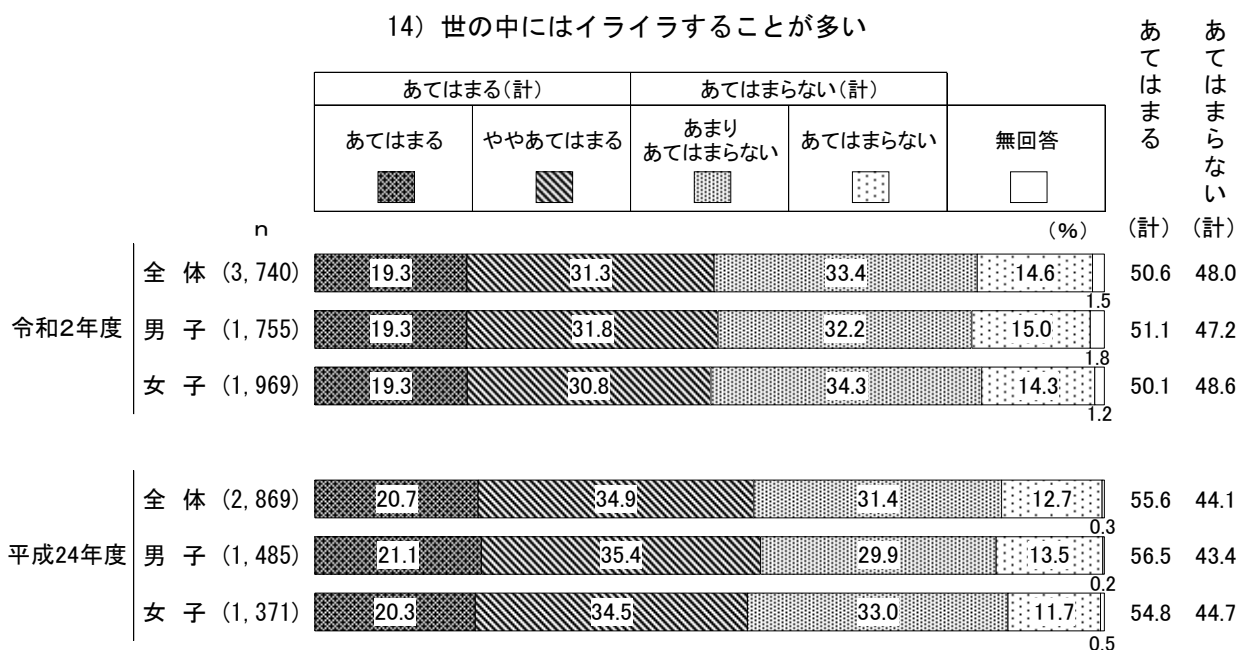
13) なんとなくやる気がおきない



「なんとなくやる気がおきない」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまらない(計)』は平成24年度より3.9ポイント減少している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で4.3ポイント増加している。

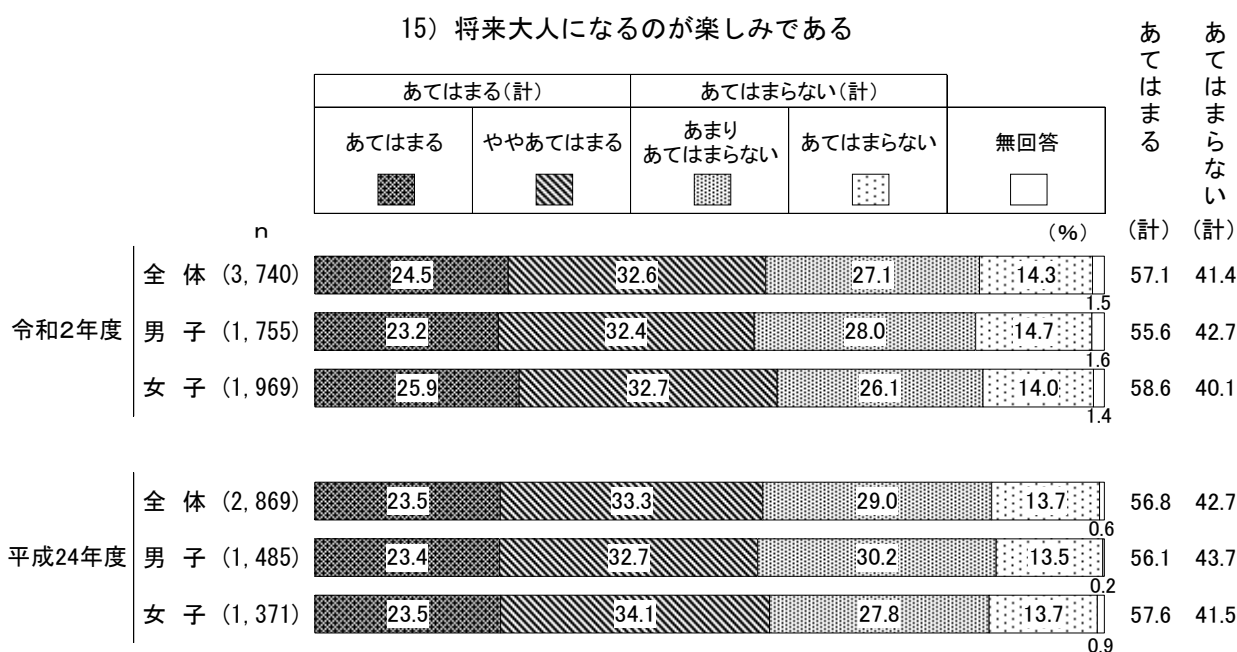
図表 2-14-16 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)



「世の中にはイライラすることが多い」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまらない(計)』は平成24年度より3.9ポイント増加している。

男女別では『あてはまらない(計)』は平成24年度より男子で3.8ポイント、女子で3.9ポイント、それぞれ増加している。

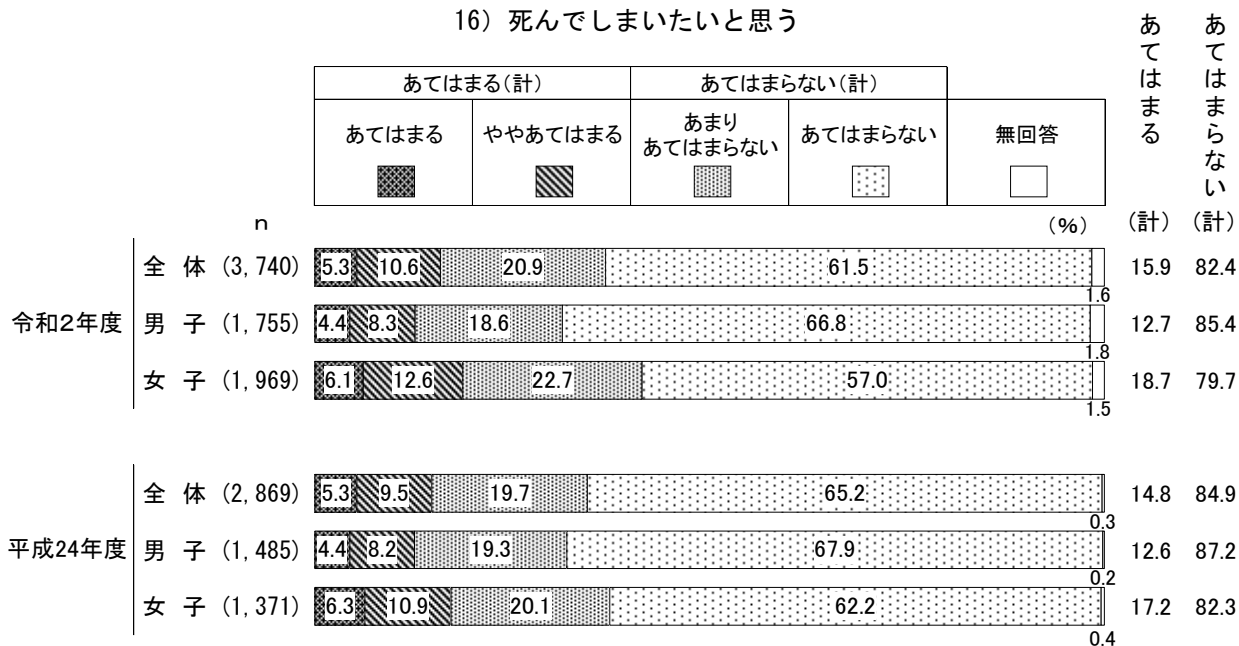
図表 2-14-17 日頃の意識-②生活感情意識 (経年比較)



「将来大人になるのが楽しみである」を過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

図表 2-14-18 日頃の意識-②生活感情意識（経年比較）

16) 死んでしまいたいと思う



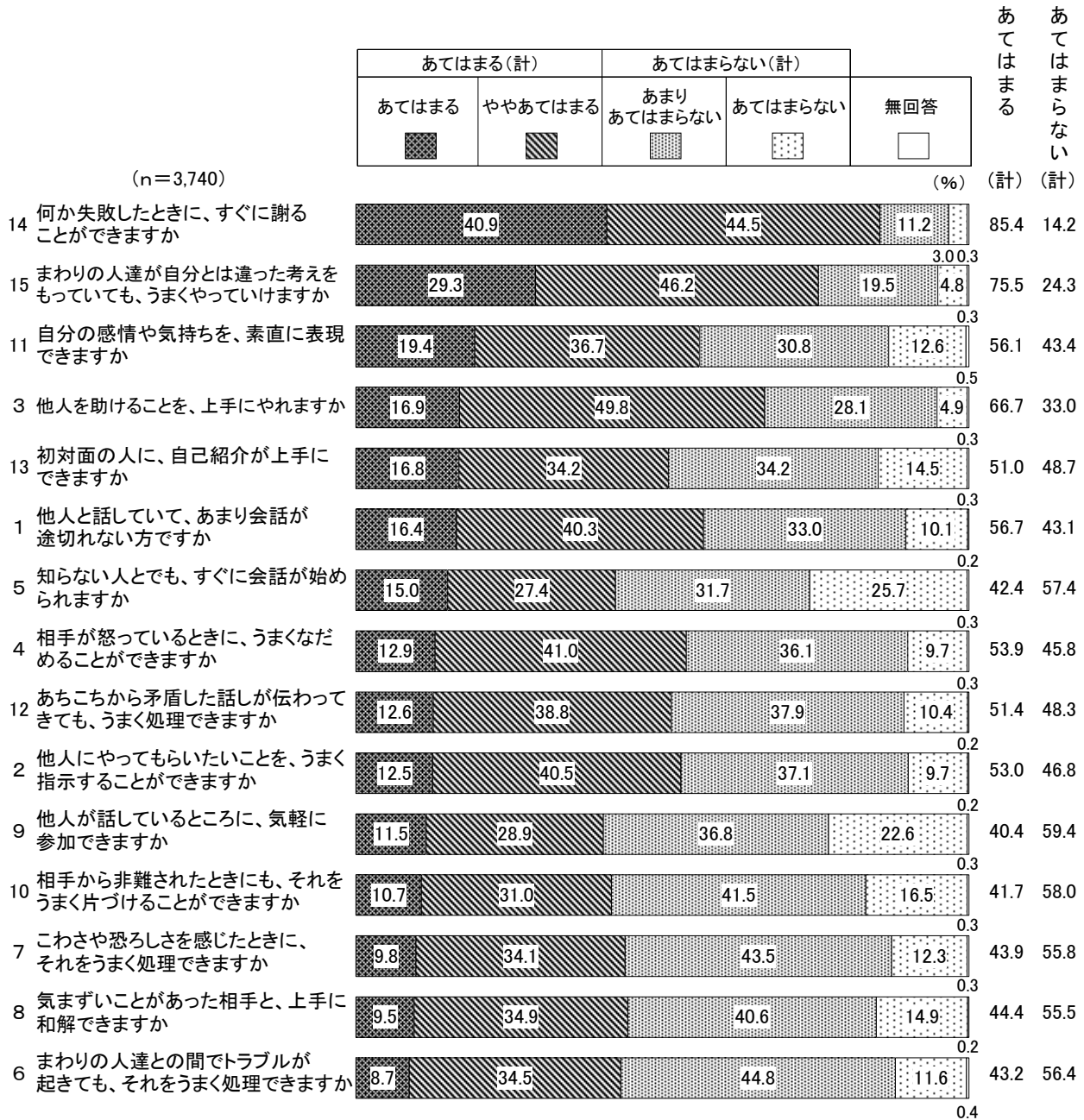
「死んでしまいたいと思う」を過去の調査と比較すると、全体では「あてはまらない」は平成24年度より3.7ポイント減少している。

男女別では「あてはまらない」は平成24年度より女子で5.2ポイント減少している。

③社会対応力

問43 次の15の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

図表 2-14-19 日頃の意識-③社会対応力

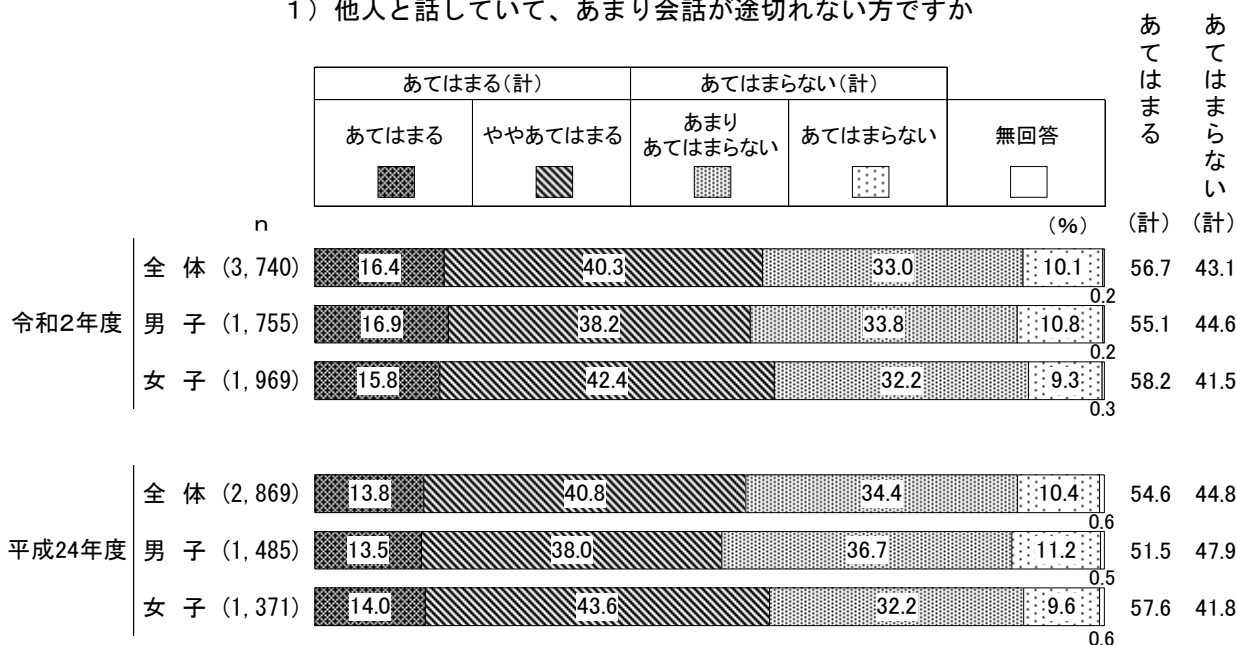


社会生活や対人関係など社会への対応力について15項目に分けて聞いたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる（計）』は、“何か失敗したときに、すぐに謝ることができますか”で85.4%と最も高く、次いで“まわりの人達が自分とは違った考えをもっている、うまくやっていけますか”（75.5%）、“他人を助けることを、上手にやれますか”（66.7%）となっている。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた『あてはまらない（計）』は、“他人が話しているところに、気軽に参加できますか”で59.4%と最も高く、次いで“相手から非難されたときにも、それをうまく片づけることができますか”（58.0%）、“知らない人とでも、すぐに会話が始められますか”（57.4%）となっている。

図表 2-14-20 日頃の意識-③社会対応力（経年比較）

1) 他人と話していて、あまり会話が途切れない方ですか



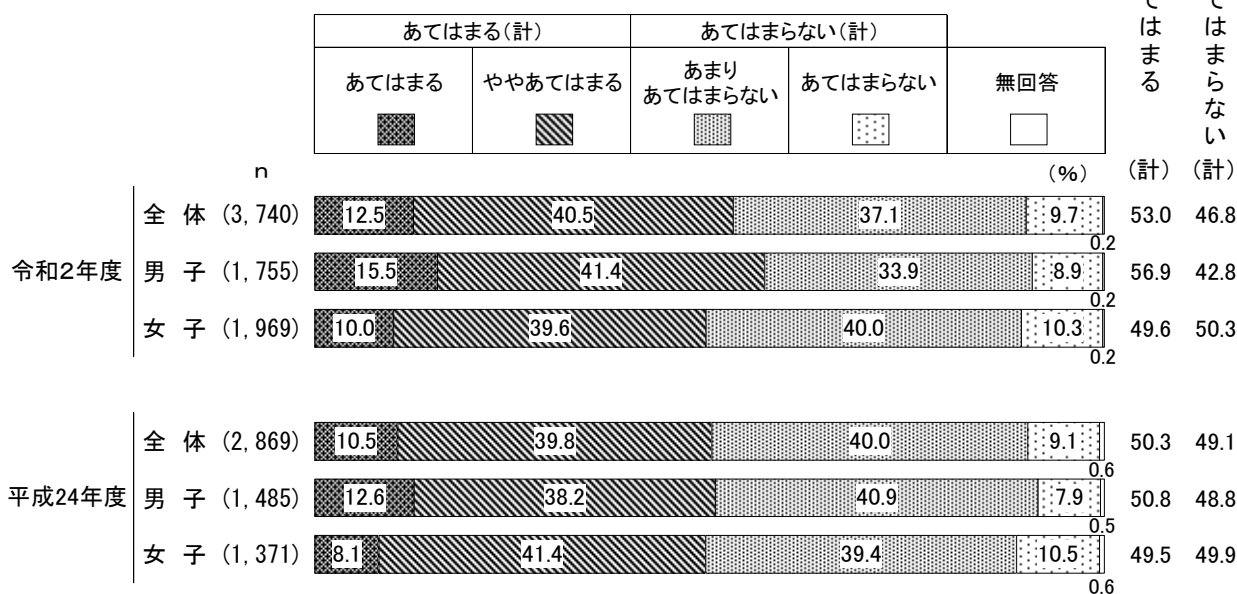
「他人と話していて、あまり会話が途切れない方ですか」を過去の調査と比較すると、全体では大きな傾向の変化はみられない。

男女別では『あてはまる（計）』は平成24年度より男子で3.6ポイント増加している。



図表 2-14-21 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

2) 他人にやってもらいたいことを、うまく指示することができますか

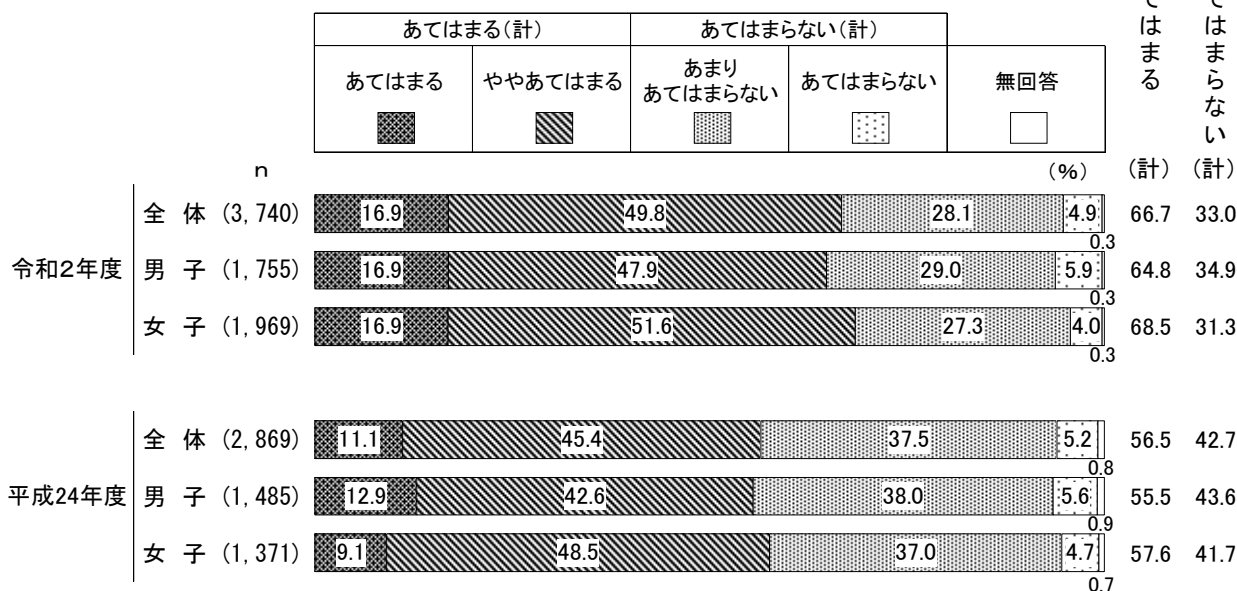


「他人にやってもらいたいことを、うまく指示することができますか」を過去の調査と比較すると、全体では大きな傾向の変化はみられない。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で6.1ポイント増加している。

図表 2-14-22 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

3) 他人を助けることを、上手にやれますか

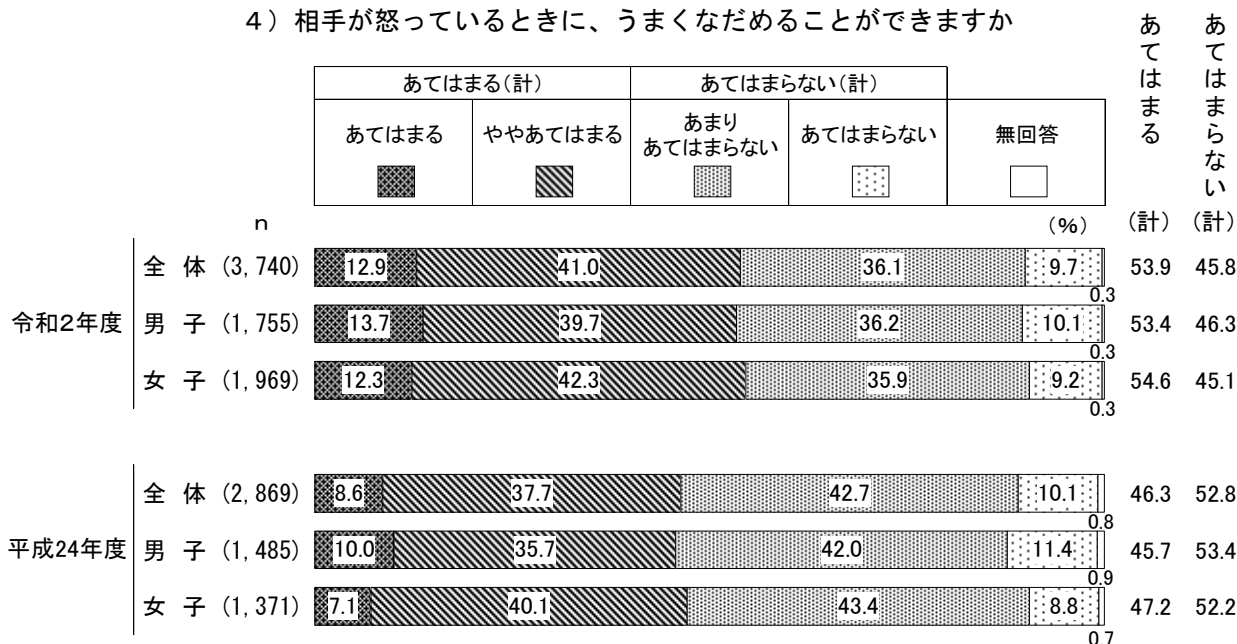


「他人を助けることを、上手にやれますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より10.2ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で9.3ポイント、女子で10.9ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-23 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

4) 相手が怒っているときに、うまくなだめることができますか

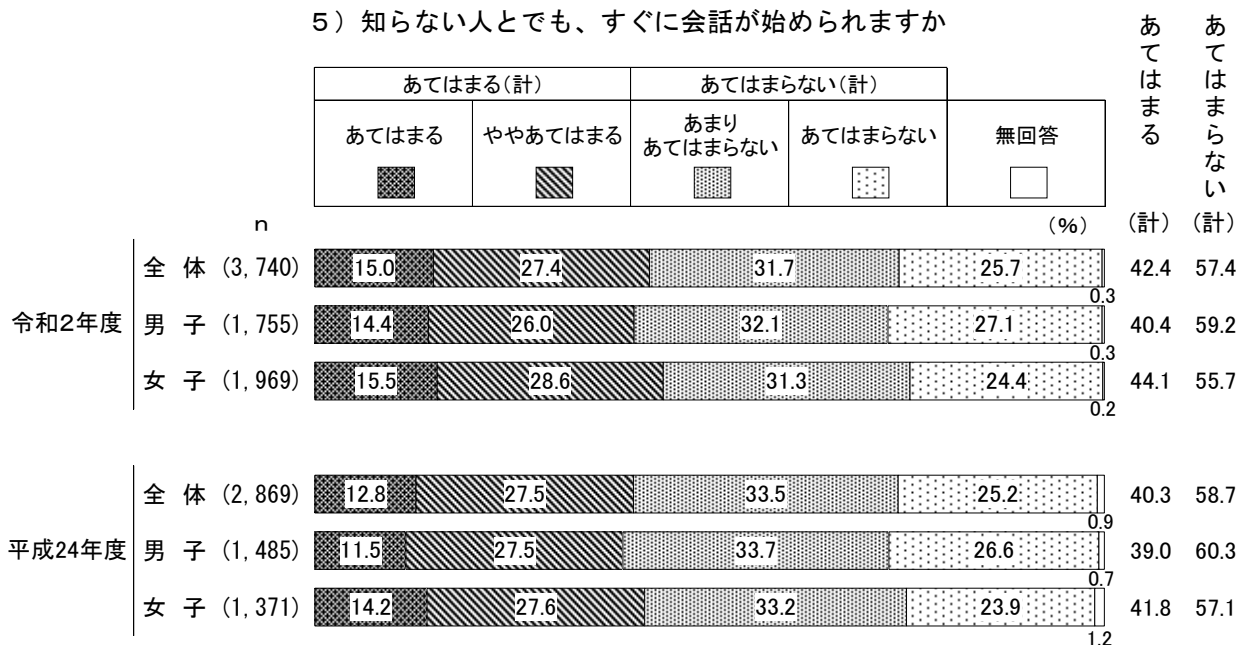


「相手が怒っているときに、うまくなだめることができますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる (計)』は平成24年度より7.6ポイント増加している。

男女別では『あてはまる (計)』は平成24年度より男子で7.7ポイント、女子で7.4ポイント、それぞれ増加している。

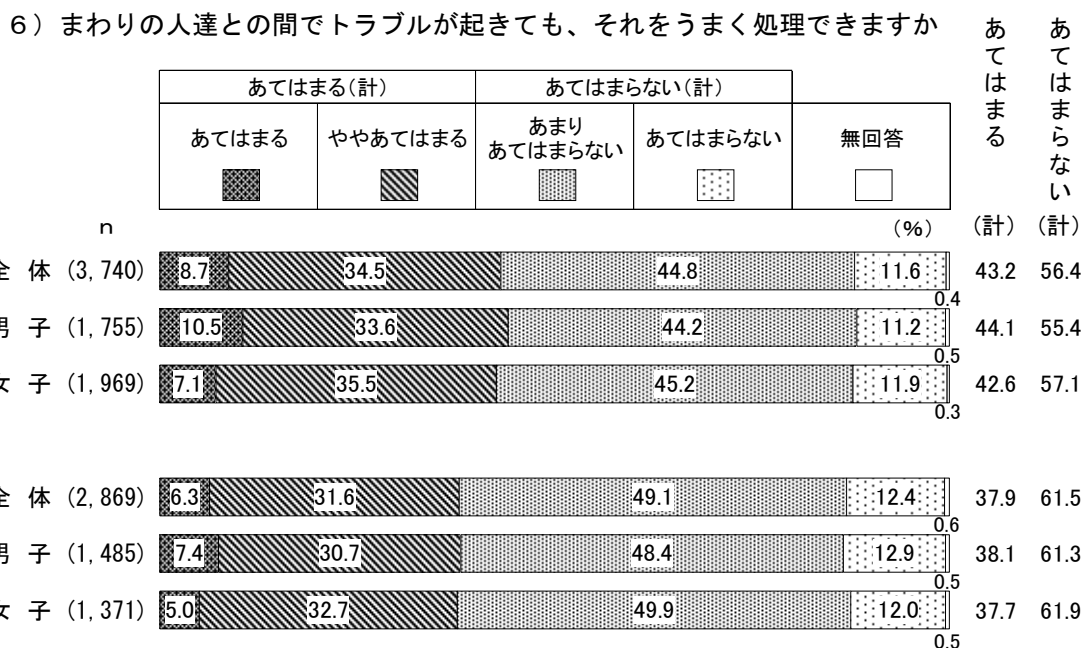
図表 2-14-24 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

5) 知らない人とでも、すぐに会話が始められますか



「知らない人とでも、すぐに会話が始められますか」を過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

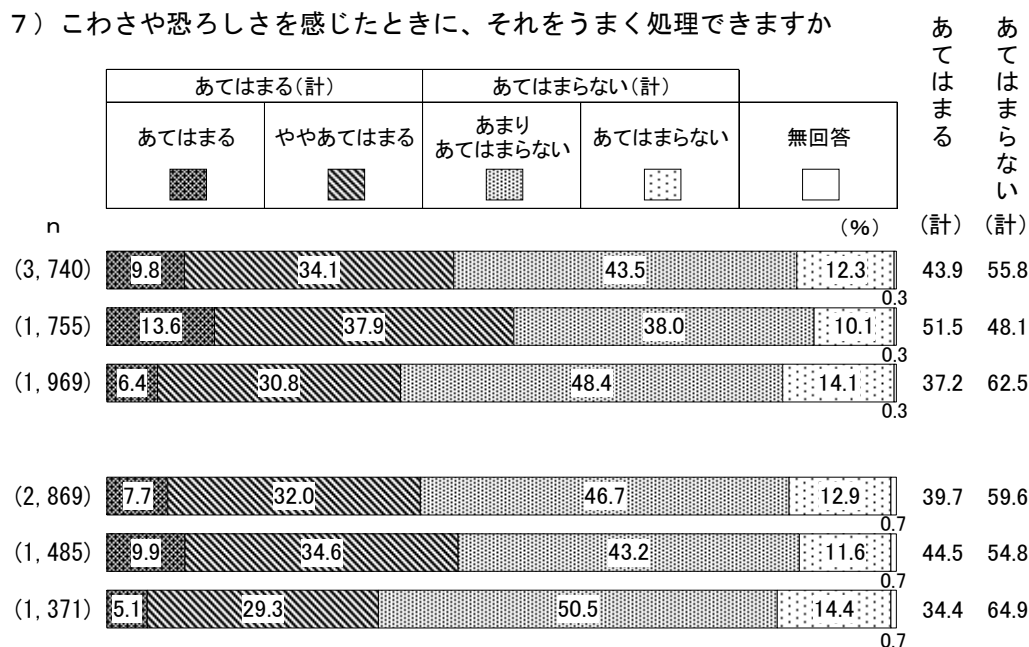
図表 2-14-25 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)



「まわりの人達との間でトラブルが起きてても、それをうまく処理できますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より5.3ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で6.0ポイント、女子で4.9ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-26 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

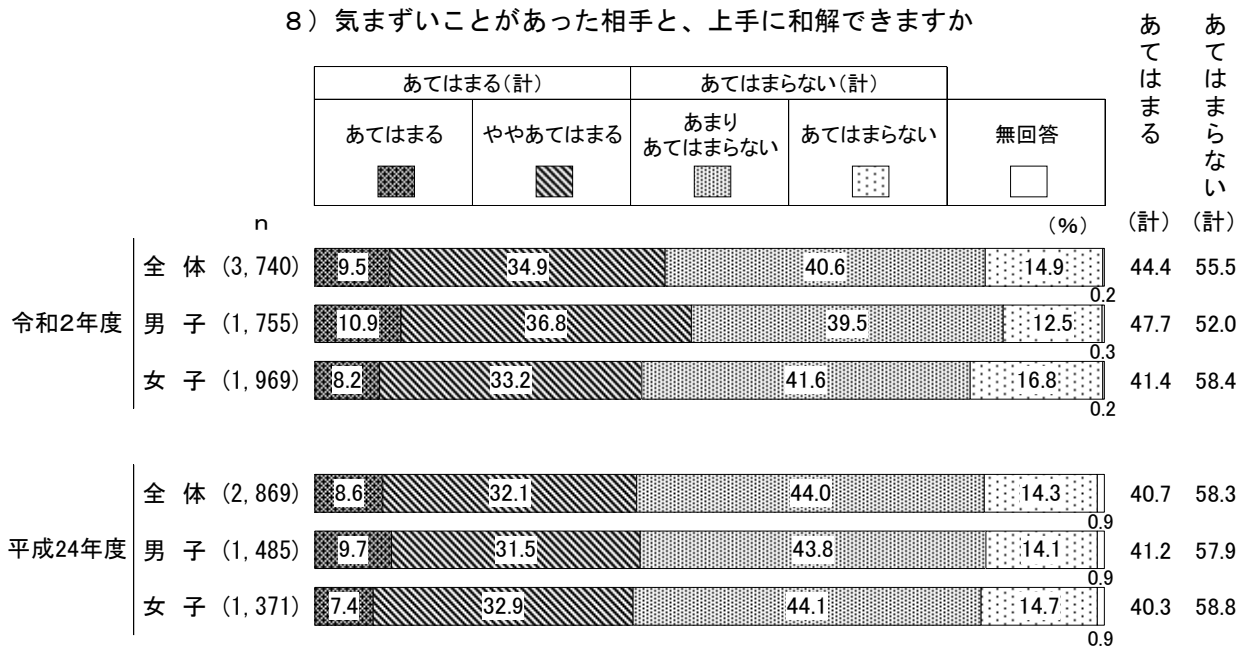


「こわさや恐ろしさを感じたときに、それをうまく処理できますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より4.2ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で7.0ポイント増加している。

図表 2-14-27 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

8) 気まずいことがあった相手と、上手に和解できますか

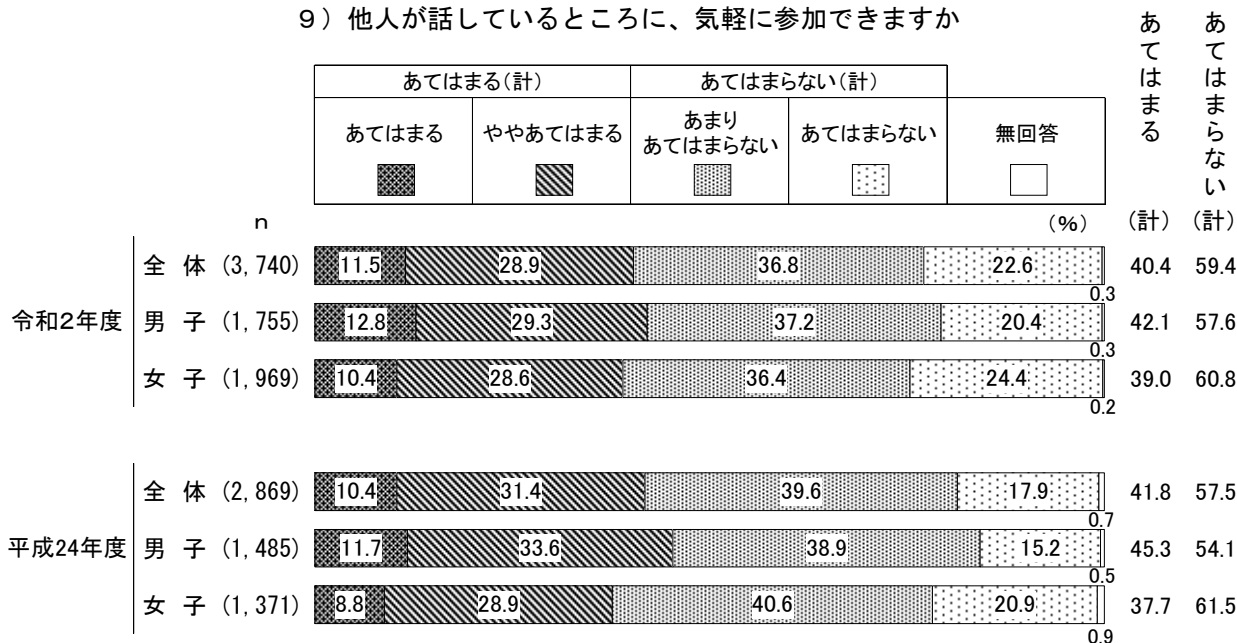


「気まずいことがあった相手と、上手に和解できますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より3.7ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で6.5ポイント増加している。

図表 2-14-28 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

9) 他人が話しているところに、気軽に参加できますか

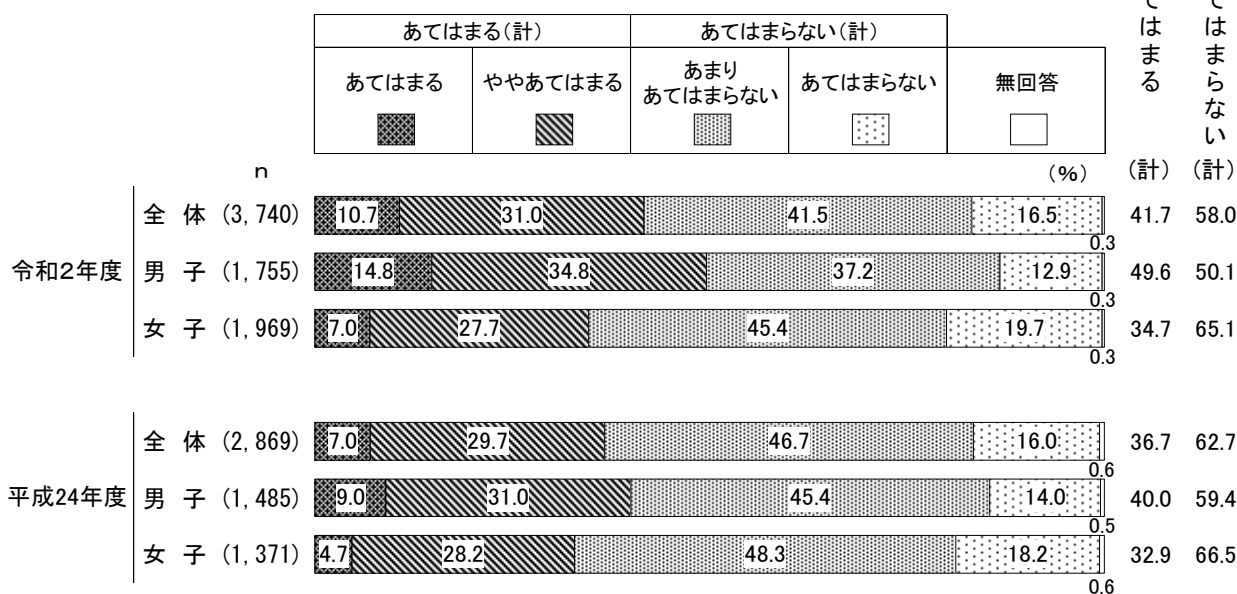


「他人が話しているところに、気軽に参加できますか」を過去の調査と比較すると、全体では「あてはまらない」は平成24年度より4.7ポイント増加している。

男女別では『あてはまらない(計)』は平成24年度より男子で3.5ポイント増加している。

図表 2-14-29 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

10) 相手から非難されたときにも、それをうまく片づけることができますか

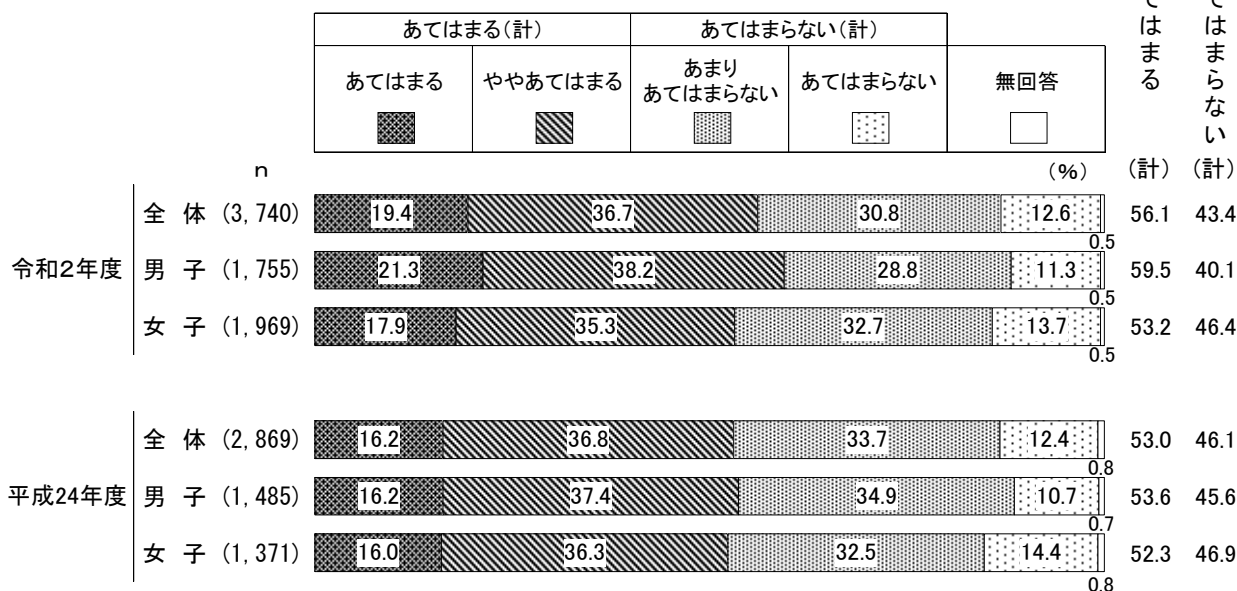


「相手から非難されたときにも、それをうまく片づけることができますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より5.0ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で9.6ポイント増加している。

図表 2-14-30 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

11) 自分の感情や気持ちを、素直に表現できますか

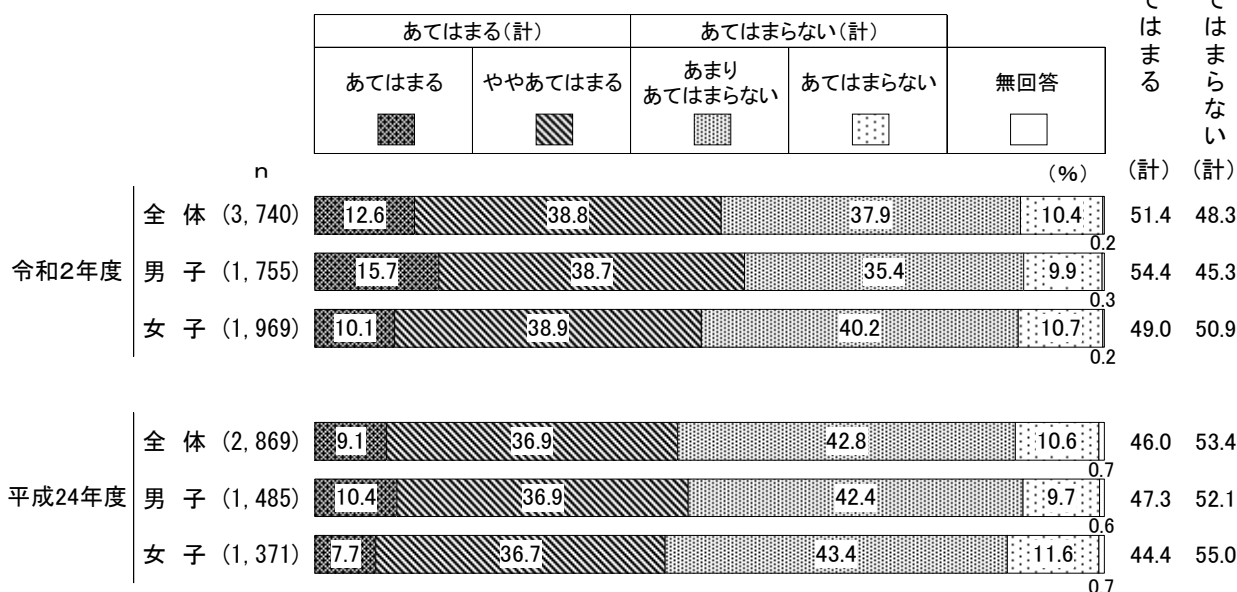


「自分の感情や気持ちを、素直に表現できますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より3.1ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で5.9ポイント増加している。

図表 2-14-31 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

12) あちこちから矛盾した話しが伝わってきても、うまく処理できますか

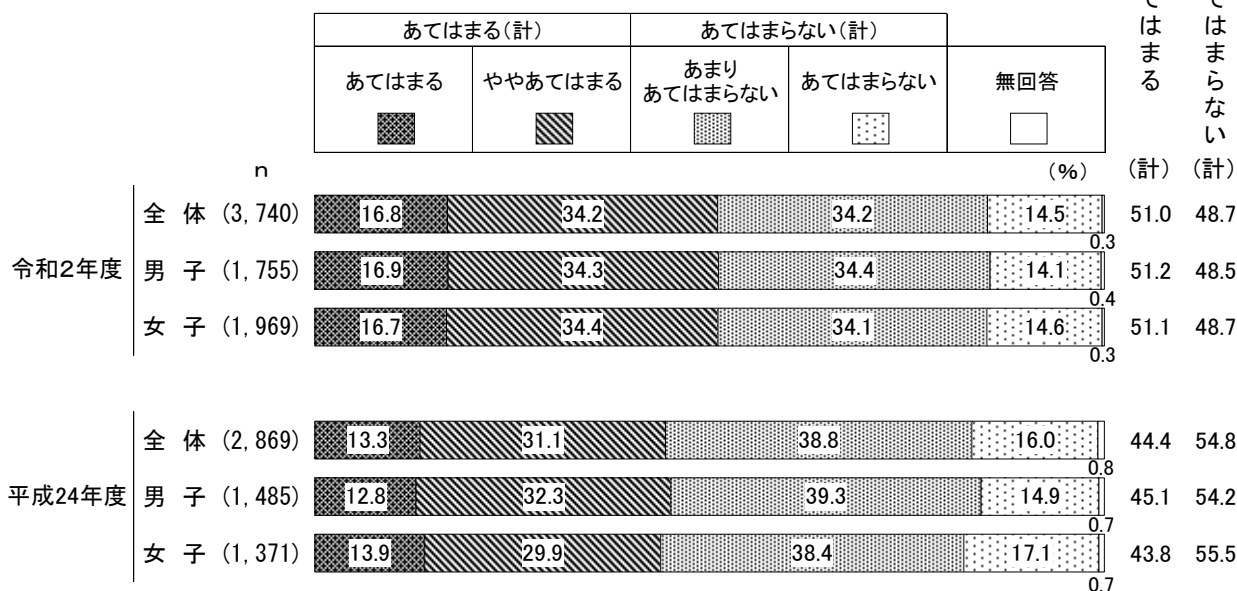


「あちこちから矛盾した話しが伝わってきても、うまく処理できますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より5.4ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で7.1ポイント、女子で4.6ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-32 日頃の意識-③社会対応力(経年比較)

13) 初対面の人に、自己紹介が上手にできますか

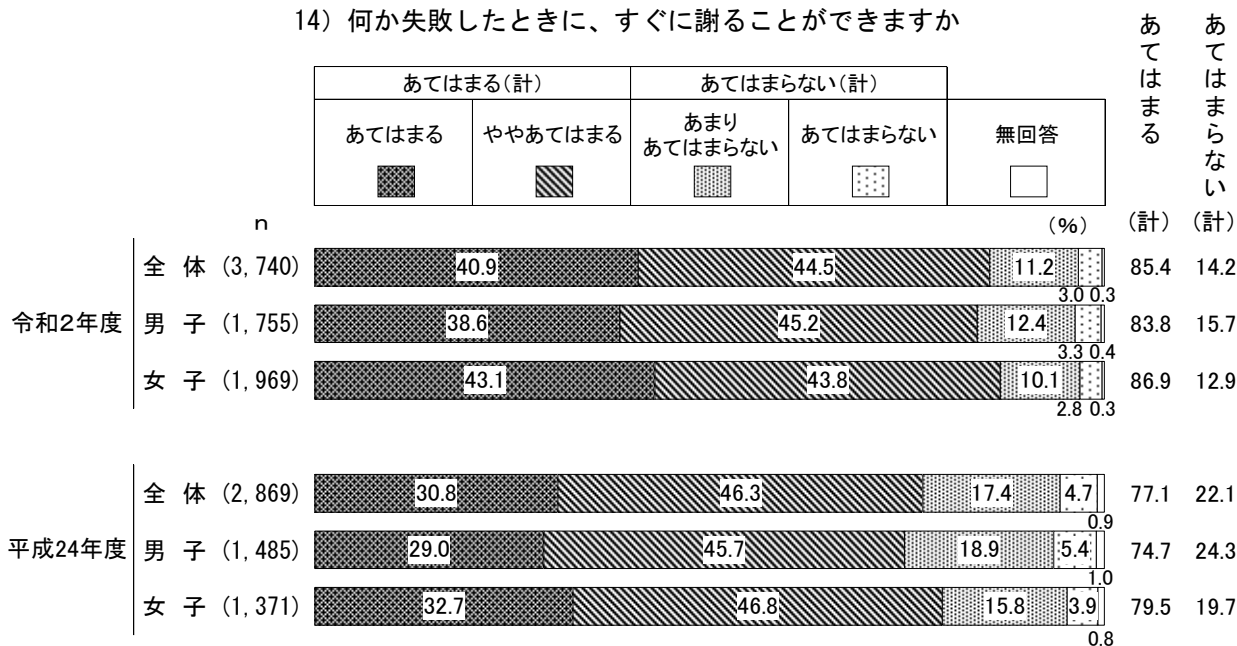


「初対面の人に、自己紹介が上手にできますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる(計)』は平成24年度より6.6ポイント増加している。

男女別では『あてはまる(計)』は平成24年度より男子で6.1ポイント、女子で7.3ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-33 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

14) 何か失敗したときに、すぐに謝ることができますか

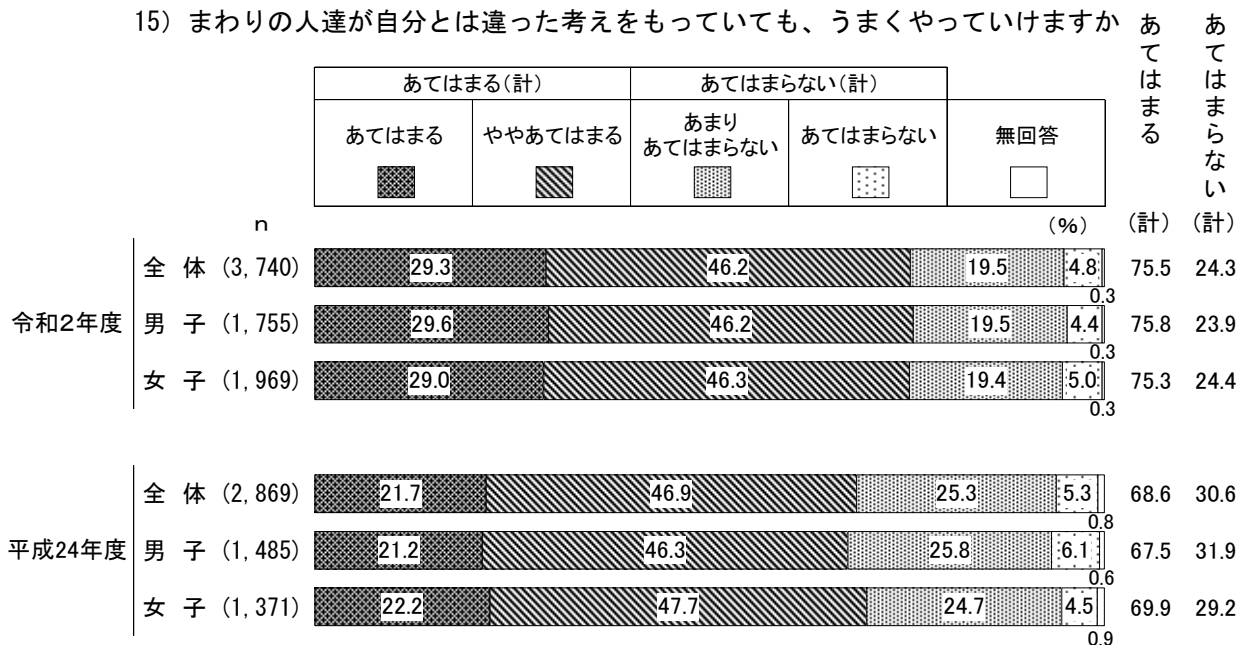


「何か失敗したときに、すぐに謝ることができますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる (計)』は平成24年度より8.3ポイント増加している。

男女別では『あてはまる (計)』は平成24年度より男子で9.1ポイント、女子で7.4ポイント、それぞれ増加している。

図表 2-14-34 日頃の意識-③社会対応力 (経年比較)

15) まわりの人達が自分とは違った考えをもっている、うまくやっていますか



「まわりの人達が自分とは違った考えをもっている、うまくやっていますか」を過去の調査と比較すると、全体では『あてはまる (計)』は平成24年度より6.9ポイント増加している。

男女別では『あてはまる (計)』は平成24年度より男子で8.3ポイント、女子で5.4ポイント、それぞれ増加している。